

平成28年第2回定例会会議録

招 集 年 月 日	平成28年3月8日(火曜日)			
招 集 場 所	伊江村議会議事堂			
開 議	3月14日 10時00分 島袋義範議長宣言			
散 会	3月14日 15時48分 島袋義範議長宣言			
出 席 議 員 (応 招 議 員)	1	島 袋 義 範 議 員	7	渡久地 政 雄 議 員
	2	島 袋 勉 議 員	8	亀 里 敏 郎 議 員
	3	山 城 善 彦 議 員	9	知 念 一 邦 議 員
	5	内 間 広 樹 議 員	10	名 嘉 實 議 員
	6	仲宗根 清 夫 議 員	11	内 田 竹 保 議 員
欠 席 議 員				
本会議に職務のため出席した者の職氏名	議会事務局長 島田勝雄君 主 査 知念一史君			
地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名	村 長	島 袋 秀 幸 君	副 村 長	名 城 政 英 君
	教 育 長	宮 里 徳 成 君	総 務 課 長	内 間 常 喜 君
	政策調整室長	宮 城 弘 和 君	建 設 課 長	並 里 晴 男 君
	教育行政課長	大 城 強 君	農 林 水 産 課 長	知 念 吉 久 君
	会 計 管 理 者	知 念 弘 和 君	農 林 水 産 課 参 事	宮 里 政 喜 君
	公 営 企 業 課 長	西 江 正 君	福 祉 課 長	金 城 和 廣 君
	商 工 観 光 課 長	東 江 民 雄 君	住 民 課 長	西 江 忍 君
	医 療 保 健 課 長	亀 里 裕 治 君	農 業 委 員 会 事 務 局 長	宮 里 正 邦 君
総務課長補佐	山 城 直 也 君			
議事日程及び会議に付した事件	別紙のとおり			
会 議 の 経 過	別紙のとおり			

平成28年第2回伊江村議会定例会議事日程（第5号）

平成28年3月14日（月）午前10時00分 開 議

日程	議案番号	件名
第1	議案第10号	平成28年度伊江村一般会計予算（質疑・委員会付託）

○ 議長 島袋 義範 君

ただいまから、平成28年第2回伊江村議会定例会7日目の会議を開きます。

(開議時刻10時00分)

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりであります。

日程に入ります。

日程第1 議案第10号 平成28年度伊江村一般会計予算を議題とします。

これから質疑を行います。歳入、款ごとに質疑を許します。

1 款村税。1 ページから6 ページまで。〔「進行」の声あり〕

2 款地方譲与税。7 ページから9 ページ。〔「進行」の声あり〕

3 款利子割交付金。10 ページ。〔「進行」の声あり〕

4 款県民税配当割市町村交付金。11 ページ。〔「進行」の声あり〕

5 款県民税株式等譲渡所得割市町村交付金。12 ページ。〔「進行」の声あり〕

6 款地方消費税交付金。13 ページ。〔「進行」の声あり〕

7 款ゴルフ場利用税交付金。14 ページ。〔「進行」の声あり〕

8 款自動車取得税交付金。15 ページ。

9 款国有提供施設等所在市町村交付金。16 ページ。〔「進行」の声あり〕

10 款地方特例交付金。17 ページから18 ページ。〔「進行」の声あり〕

11 款地方交付税。19 ページ。〔「進行」の声あり〕

12 款交通安全対策特別交付金。20 ページ。〔「進行」の声あり〕

13 款分担金及び負担金。21 ページ。〔「進行」の声あり〕

14 款使用料及び手数料。22 ページから23 ページ。〔「進行」の声あり〕

15 款国庫支出金。25 ページから27 ページ。7 番 渡久地政雄議員。

○ 7 番 渡久地 政 雄 議員

歳入26ページをお願いします。5目の教育費国庫補助金の中の細節25、民俗文化財伝承活用等事業補助金についてお聞きします。これは歳出のほうにも説明はされたんですけども、今回、製本をつくるということでもありますけれども、課長の説明では、組踊のですね、県は4%、次の16款7目の県補助金、教育費の補助金の中では県は4%の補助だと言いましたけれども、この細節25については何パーセントなのか、一緒なのか。

○ 議長 島袋 義範 君

教育行政課長 大城 強君。

○ 教育行政課長 大城 強 君

渡久地政雄議員の民俗文化伝承活用等事業補助金につきまして、国の補助率につきましては80%でございます。

○ 議長 島袋 義範 君

7 番 渡久地政雄議員。

○ 7 番 渡久地 政 雄 議員

次の教育費の7目の中での各区の踊りについては4%と言っていたんですけども、これは県補助ではないわけですか、関連するもので。

○ 議長 島袋 義範 君

教育行政課長 大城 強君。

○ 教育行政課長 大城 強 君

民俗文化伝承についてです。国は80%、県は4%の84%の補助でございます。

○ 議長 島袋義範君

7番 渡久地政雄議員。

○ 7番 渡久地政雄議員

歳出でやるよりはと思って。今日までいろんなCDに残したり、各区の踊り等とか、製作をやった例もあるんですけども、今回はどのような感じですかね、まとめてやるのか、各区にもう一度、実施して、ビデオを撮って作成するのか、お伺いします。

○ 議長 島袋義範君

教育長 宮里徳成君。

○ 教育長 宮里徳成君

今回の事業は各区に伝わる組踊の台本を整理して、口語化して、琉球大学の大城学先生のほうでまとめて、編集までやるということで、今後の民俗芸能発表に若者が意味とか、そういうのがわかりやすいようにまとめていこうという考え方であります。CDについてはつくりません。台本と口語化した本を作成する予定であります。

○ 議長 島袋義範君

15款、進行していいですか。〔「進行」の声あり〕

16款県支出金。28ページから31ページ。8番 亀里敏郎議員。

○ 8番 亀里敏郎議員

29ページの4目の農林水産業県補助金で、施設の農林水産業費補助金の中に、歳出の中に去年は絆の森整備事業243万6,000円の県補助があったんですけども、ことはこの項目がなくなっているんです。ということはどういうことなんでしょうか、もう終わりということですか。

○ 議長 島袋義範君

農林水産課長 知念吉久君。

○ 農林水産課長 知念吉久君

亀里議員のお説のとおり、この絆の森事業は平成27年度で完了して、平成28年度からはございません。グスクの周辺の植樹事業は平成27年度で完了して、その後、保育事業ということで、森林環境保全直接支援事業で全体を管理していく事業に変わっていきます。植樹事業はなくなりました。

○ 議長 島袋義範君

8番 亀里敏郎議員。

○ 8番 亀里敏郎議員

今まで植樹した木々等については、その数して、これをきれいに管理、育成させていく事業はあるわけですね。何か歳出でも出てくるようにですね、それはもう間違いありませんよね。確認です。

○ 議長 島袋義範君

農林水産課長 知念吉久君。

○ 農林水産課長 知念吉久君

周辺の植樹した樹木の保育及び管理をする事業は、平成28年度も歳出のほうにも組んであるとおおり、引き続き事業はございます。

○ 議長 島袋義範君

16款、進行していいですか。〔「進行」の声あり〕

17款財産収入。32ページ。〔「進行」の声あり〕

18款寄附金。33ページ。〔「進行」の声あり〕

19款繰入金。34ページから35ページ。8番 亀里敏郎議員。

○ 8番 亀里敏郎議員

35ページの5節減債基金繰入金について、いま一度説明をお願いしたいんですが。

○ 議長 島袋義範君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内間常喜君

5目の減債基金繰入金3億円につきましては、歳出項目にもございますが、公債費、村債の支払いに充てるための繰り入れ措置でございます。

○ 議長 島袋義範君

8番 亀里敏郎議員。

○ 8番 亀里敏郎議員

減債基金の目的は、繰り上げ償還といったら借金を払うということです。私、疑問に思うのは、平成20年が5,000万円で、これ以降、去年、平成27年まで1億円の繰り入れなんですけれども、急にここに来て、平成28年度で3倍も減債基金繰入ということはどういうことがあったかなとちょっと疑義が生じるんですけれども、いかがでしょうか。

○ 議長 島袋義範君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内間常喜君

歳出の公債費のほうで、たしか元金のほうが増えていると思います。済みません。歳出の103ページのほうをお開きいただきたいと思いますが、12款1項1目元金のほうで、9,000万円余りの増額がございまして、支払い償還につきましては、2年とか3年とか据え置きしたりするわけなんです、元金が今回、例えば各学校、教育施設の整備等で発生した起債の元金分の支払いが発生したりとか、そういったことも見込まれますが、そういった影響でまず1億円近い金額が増えるという現状がございまして、また今回、大型公共施設というんですか、総合運動公園の大型の事業歳出で一般財源が不足している関係もありまして、今回この減債基金の繰り入れもちょっと多額になっていると。そういった影響もあるということで御理解をいただければと思います。

○ 議長 島袋義範君

8番 亀里敏郎議員。

○ 8番 亀里敏郎議員

そういうものではないかと思いましたが、ただし、減債基金の目的は3億円というのはあまり3倍と大き過ぎるんです。9,000万円の戻しがあるとしても、余りに3億円というのは大き過ぎないかと思いません。目的は地方公共団体について地方債の償還及びその信用の維持のため、地方自治法第241条の規定に基づいて設けられる資金の一つである目的です。もしこれが繰り上げ償還ならその額も私は納得いくんです。余りにも唐突な額なものですから、いかがかなと。それだけの理由があるから、これだけやられていますが、この6年間1億円で推移していたんです。そして平成20年度が5,000万円なんです。その辺が余りにも事業が多くなったといっても、これで事業費に補填するということはちょっとぐあい悪いです。先ほどの総務課長は事業が大きくなってくるといようなニュアンスの話もあったんですけども、確かに9,000万円も増えていることは間違いない。歳出を私も見ました。もっとしっかりした説明できませんか。

○ 議長 島袋義範君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内 間 常 喜 君

今回の繰入金につきましては、1日から11日までございますが、それぞれバランス等も考えて起債しているところがございます。減債基金におきましては、今7億円ほどございますけれども、このうちから3億円繰り入れいたしまして、それでもやりくりというんですか、そういったものについては特に支障を来さずにやっていければと考えておりますし、今後またこの事業というんでしょうか、国庫補助とか、そういったものが増えたりとか、あるいは決算で締めたときに、これができるべく抑えられるように財政措置というんですか、バランスを保ちながらやりくりをしていければと考えているところでございます。

○ 議長 島 袋 義 範 君

8番亀里敏郎議員の本件に関する質疑は、既に3回になりました。会議規則第55条ただし書きの規定によって、特に発言を許します。8番 亀里敏郎議員。

○ 8番 亀 里 敏 郎 議員

できましたらあまり唐突の予算の編成は慎重にさせていただければということをお提言を申し上げて、質疑を終わります。

○ 議長 島 袋 義 範 君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島 袋 秀 幸 君

私からも少しだけ、確かに亀里議員がおっしゃるとおり、これまで長年1億円で減債基金からは繰り入れをして、公債費の償還費に充ててきたという非常に適正というんですか、良好な予算編成だったと思っております。今回につきましては、考えられるのは野球場の整備事業が今年度、平成28年度から始まりますけれども、そのうちの今回は、平成28年度は債務負担で国から2割しか国庫補助金が入らないと。残りの分は平成29年度にしか入らないという事業の特異性もあって、国からの歳入が20%しか入らないというのが大きな基金からの繰り入れをしないといけないような事情になったと私は思っていますが、来年度は残りの80%が平成29年度は入りますから、あのときはまた国の補助金も多くなると思っています。そういう中で、減債基金の償還にそのための基金ですが、極力繰り入れをしないで返還できるというのは、非常に適切ないい予算だと今までだったと思っております。今回は財政調整基金からは2億9,000万円ぐらいの繰り入れもしておりますが、私も相談を受けたときに、減債基金を1億円にしたときに、財政調整基金を要するに2億円増にして、5億円にするかどうかという部分でしたが、基本的に減債基金も現在7億円以上の積立金があるということでしたので、そういう感じで予算編成をすることになったと思っておりますので、そういう中で、9億円余りの事業費をかけてやる、野球場の国庫補助金が今回は2割しか、平成28年度予算として歳入が見込めなかったという部分もあって、基金からの繰り入れがちょっと多くなったということで、また御理解もいただければと思います。

○ 議長 島 袋 義 範 君

19款、進行します。〔「進行」の声あり〕

20款繰越金。36ページ。〔「進行」の声あり〕

21款諸収入。37ページから41ページまで。進行してよろしいですか。〔「進行」の声あり〕

22款村債。42ページ。〔「進行」の声あり〕

歳入全般にわたって質疑を許します。10番 名嘉 實議員。

○ 10番 名 嘉 實 議員

歳入21ページの教育費負担金、これは学校給食費についてですが、幼稚園から中学校までの給食費の負担

について、資料の提供をお願いします。

次の22ページ、幼稚園教育使用料、2節の幼稚園使用料についても資料をお願いします。

○ 議長 島袋義範君

教育行政課長 大城 強君。

○ 教育行政課長 大城 強 君

今、名嘉議員の学校給食費負担の資料につきましては、金額と人数とか、そういった資料でよろしいですか。では後ほどということで、よろしくをお願いします。

○ 議長 島袋義範君

ただいま10番名嘉 實議員から学校給食費についての資料の要求があります。

お諮りします。この資料を議会で要求することにしたいと思います。御異議ありませんか。〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。したがって、ただいま要求のありました資料を議会で要求することに決定しました。村長はただいまの資料の提出を要求いたします。

歳入、全般、ほかにございせんか。〔「進行」の声あり〕

歳出にいきます。歳出も款ごと質疑を許します。

1 款議会費。1 ページから2 ページ。〔「進行」の声あり〕

2 款総務費。3 ページから21 ページ。3 番 山城善彦議員。

○ 3 番 山 城 善 彦 議員

6 ページの細節143. 結婚披露宴助成金についてなんですけれども、今回100万円が計上されておりますが、平成27年度の実績はどうだったか、ちょっと教えてもらいたいと思います。

○ 議長 島袋義範君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内 間 常 喜 君

これにつきましては、新生活運動等とのかかわりもございましたけれども、平成27年度からスタートいたしまして、2件ございました。また補正も何度かしております、前年度が80万円の計上でございましたが、補正を何度か繰り返してきております。今回100万円の計上をさせていただいているところでございます。

○ 議長 島袋義範君

3 番 山城善彦議員。

○ 3 番 山 城 善 彦 議員

もうちょっと詳しく中身を、1件につきどういう状態だったというのを教えてもらえませんか。

○ 議長 島袋義範君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内 間 常 喜 君

済みません、これは今、資料が手元にございせんので、後ほどよろしくお願ひしたいと思ひます。

○ 議長 島袋義範君

7 番 渡久地政雄議員。

○ 7 番 渡 久 地 政 雄 議員

歳出4 ページなんですけれども、細節1334. 世界のイーゾマンチュ交流招聘事業、これも予算は(推交)なんですけれども、第6回世界のウチナーンチュ大会がことし開催されます。今日まで那覇のあるホテルで歓迎会をして、何時間で迎えて、交流会だけの受け入れだったんですけれども、村長の計らいで、今回から

は伊江村に招聘して、皆さんを家族関係者、多くの人で歓迎しようということで、大変喜んでおります。そこでなんですが、やはり関係者が世界にまたがっていますので、この連絡ですね、連絡もそういった関係者を多く呼ぶには、どのような感じで計らって、連絡して呼ぶのか、そしてそのときに関係者は関係者の家でももちろん宿泊等も何泊もできるわけですけども、中にはホテルとか、宿泊する方もいると思うんですけども、その受け入れる人数の確認をどのような感じでやるのか、そしてどのような感じで伊江村は歓迎をしたいのか、お聞きします。

○ 議長 島袋 義範 君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内間 常喜 君

まず世界のウチナンチュ大会が10月26日から第6回世界のウチナンチュ大会がございます。その中で世界のイージマンチュの皆さんをお呼びして、伊江島までお越しただいて、交流会をしようということで、今、計画をしているところでございます、その10月の後半の下旬ごろの日にちを設定しまして、伊江村のほうにどうかお招きできないかと考えております。この皆さんへの連絡につきましては、今年度、平成27年度に派遣をいたしました。各受け入れ先、そういったところへの御連絡を差し上げると同時に、またイージマンチュの協会というんでしょうか、窓口も各国にあるようでございますので、そういった郷友会というんでしょうか、そういったまとまりのある組織を通じて、連絡をしたいということと、あるいはまた世界のウチナンチュ大会の事務局ともまた連絡を取りながら、多くの伊江島関係者の皆さんをお招きして開催できたらと考えております。また中には、伊江島に関係者がいらっしゃらなくて、関係者のところに泊まるというのが難しいという方もおられると思いますので、そういったことで、ホテルの予約、宿泊先の予約とか、あるいはそれに伴う予算の補助とか、そういったことについてもこの事業の中で見ていければと考えております。

○ 議長 島袋 義範 君

2番 島袋 勉議員。

○ 2番 島袋 勉 議員

歳出の5ページ、15節の工事請負費、説明の中で防犯カメラの設置ということであったんですが、その場所はどこどこを予定しているか、教えていただけませんか。

○ 議長 島袋 義範 君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内間 常喜 君

私のほうで公共施設等に防犯カメラを設置する工事費というふうに御説明をしております。これにつきましては、去年でしたでしょうか、盗難とか、そういった事件もありまして、各区のほうからもその辺の防犯カメラの設置についての要望がございました。さらに村の運営する堆肥センターでありますとか、そういった施設につきましても、若干ではありますが、重要書類であったり、個人情報であったり、あるいは金銭、そういったものも一時的に預かっている場合があったりしますので、そういった公共施設の何箇所か、まず予算の範囲内でなるべく多くのところに導入したいと思っておりますが、そういった公共施設の防犯カメラの設置を目的に、この工事請負費として予算計上しているところです。

○ 議長 島袋 義範 君

2番 島袋 勉議員。

○ 2番 島袋 勉 議員

場所に関してはこれから再度調整していくということで、まだ限定はしていないということよろしいで

すか。

○ 議長 島袋義範君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内間常喜君

そうですね、公民館の中には事前に、事前にというんでしょうか、事業であつたりとか、独自で導入しているところもありまして、その辺も調査をして、迅速に、早目にやったほうがいいなというところを優先的にやっていきまして、全ての公民館でそういったものができたらと考えております。

先ほどの山城議員の御質疑で答弁漏れがございましたので、お答えいたします。まず1件が50万円。これは昨年6月に結婚披露宴をなさっております。そして10月にもございまして、70万円の助成をしております。50万円の方は80名余りの招待者です。70万円の方は140名余りの招待者で披露宴をなさっております。

○ 議長 島袋義範君

10番 名嘉 實議員。

○ 10番 名嘉 實議員

6ページ、負担金補助金及び交付金の細節123と細節144について説明をしていただきたいと思います。これは区が儲けずくすると、税金がかかるということで、区に課税されないような対策を税理士に委託した予算が計上されたことがありましたが、それとの関係で委託料ではなくて、負担金補助金及び交付金になっているんですか。この2つの違いについて説明していただきたいと思います。

○ 議長 島袋義範君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内間常喜君

まず細節123につきましては、財政的に脆弱というんでしょうか、軍用地料等がない区に対しての助成ということで、区の委託事務というんですか、事務委託の助成とは別に計上しているものでございます。3区分でございます。東江前、阿良、真謝です。それと細節144につきましては、議員お説のとおり、委託料からの歳出科目の変更でございまして、これにつきましては会計事務所とも調整しました。課税されないようにということでもないんですけれども、基本的に委託料という形はもうとらないほうがいいのではないかと、いう指導もございまして、委託料となるとまず請け負いをしているという形で、課税をせざるを得ないということで、区の運営補助的な形で補助金に項目を変更したほうがいいのではないかと、好ましいのではないかと、いう指示もありまして、このような措置をさせていただきます。したがって、委託料には計上しておりません。

○ 議長 島袋義範君

10番 名嘉 實議員。

○ 10番 名嘉 實議員

これに関連するんですが、県道清掃委託料がありますよね、これは委託料のままなんですよね、これについてはどうするんですか。

○ 議長 島袋義範君

建設課長 並里晴男君。

○ 建設課長 並里晴男君

ただいまの名嘉議員の阿良区への清掃の委託料につきましては、これまでと同様に委託料で計上していたわけですが、これは庁舎単位でどこに持っていったほうがいいか、いろいろ調整もしながらしていたわけですが、阿良区とも調整はしていきますが、区への委託料としまして、大体前年度だと25万円の委託料で阿良

区と提携しているわけですから、その委託料についてそのままがいいのか、阿良区にもちょっと聞いたんですが、その結果、委託料でいいということ若干は踏まえて、そのまま計上したわけです。しかしながら、もう一度、阿良区とも調整し、また総務課とも調整し、予算の項目としては一貫したほうがいいということなら、またそのような対応をやっていかないといけないと考えています。

○ 議長 島袋義範君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内間常喜君

この各区の予算の執行上の予算配置につきましては、各区ともに若干違いがございまして、その辺も統一するというんでしょうか、わかりやすく統一をしていったほうがいいのではないかとという指示もありまして、今後、区とも調整を図りながらやっていきたいと思っております。さらに課税に関しては、法人税の均等割につきましては、どうしても各区ともに自主財源というんでしょうか、いろんな努力をなさいまして、自分たちでいろんな貸し出しをしたりとか、そういったこともなさっております、どうしても均等割が発生いたしますので、その辺では各区にも御協力をいただくようお願いをし、そして同意をいただいているところです。

○ 議長 島袋義範君

進行します。3款民生費。22ページから32ページまで。3番 山城善彦議員。

○ 3番 山城善彦議員

24ページ、2つ伺いたいんですけども、細節1269の臨時福祉給付金給付事業について、いま一度説明をお願いしたいと思っております。ちょっと聞き漏らしました。それと20節扶助費の細節104の九十歳以上高齢者激励金と細節105の百才以上高齢者激励金、今年度の予定者といいますか、人数をひとつ教えていただきたいと思っております。

○ 議長 島袋義範君

福祉課長 金城和廣君。

○ 福祉課長 金城和廣君

山城議員の御質問にお答えいたします。

まず臨時福祉給付金についてお答えいたします。平成27年度繰り越しで御説明しましたのは、3つの給付金があると言いましたけれども、繰り越しも含めて御説明いたします。平成27年度の臨時福祉給付金の繰り越しにつきましては、65歳以上の非課税者700人に対して、1人当たり3万円を支給します。これは上半期に支給するということでお答えいたしました。新年度につきましては同様に課税されていない方1,750人に対して、1人当たり3,000円の支給をします。それからもう1つは、65歳未満の方で障害者基礎年金、または遺族基礎年金を受給している65歳未満の方235人に対して、1人当たり3万円を支給するというところでございます。申請の開始は、平成28年10月あたりからやりまして、これは各世帯に郵送で御案内して申請をすると、平成27年度に引き続き同様の手続をしたいと思っております。

続きまして、扶助費の九十歳以上高齢者激励金につきましては、142人の5,000円で、71万円となっております。そして百才以上高齢者激励金につきましては、100歳以上7人でございます。新100歳対象者が8人でございます。以上でございます。

○ 議長 島袋義範君

3番 山城善彦議員。

○ 3番 山城善彦議員

100歳だけが新があったんですけども、90歳以上も新はないですか。

○ 議長 島袋義範君

福祉課長 金城和廣君。

○ 福祉課長 金城和廣君

90歳以上の高齢者には1人当たり5,000円でございます。それから100歳以上につきましては、新100歳対象者につきましては3万円の8人。そしてそれを除く100歳以上の7人の方には1万円の7万円になります。ということで、1万円です。100歳以上は1万円。新100歳は3万円、ことしから1万円だったのを3万円に上げております。

○ 議長 島袋義範君

5番 内間広樹議員。

○ 5番 内間広樹議員

歳出28ページの20節扶助費の中の細節103. 障害福祉サービス費1億6,000万円、再度説明をお願いいたします。

○ 議長 島袋義範君

福祉課長 金城和廣君。

○ 福祉課長 金城和廣君

歳出28ページの扶助費の細節103. 障害福祉サービス費でございますが、1億6,000万円、前年度比較で1,780万円の大幅な増額でございますが、これにつきましては、訪問系サービス、日中活動系サービス、療養介護施設入所支援等、利用者が増えていることが要因でございます。

○ 議長 島袋義範君

5番 内間広樹議員。

○ 5番 内間広樹議員

ちなみに施設入所者の対象人数は何名でしょうか。

○ 議長 島袋義範君

福祉課長 金城和廣君。

○ 福祉課長 金城和廣君

就労B型支援利用者数で御説明いたします。たんぼぼが21名、ちむぐるが8名、ぴゅあが3名、村外が9名、計41名でございます。

○ 議長 島袋義範君

9番 知念一邦議員。

○ 9番 知念一邦議員

24ページ、3款1項1目19節の細節125についてですが、今回、平成28年度初めて、B型就労支援、作業所への補助金ということですが、村長の補助金に対して、また私、個人的にも役員をしております、この作業所の社員の皆さんの頑張り、そして作業所の職員の頑張り等を端で見てまいりまして、今回の予算に大変感動を受けております。そういうことで、これから障がいを持った方々への激励ということから、この補助金は来年も期待してよろしいのかどうか、お伺いいたします。

○ 議長 島袋義範君

福祉課長 金城和廣君。

○ 福祉課長 金城和廣君

今、知念議員がおっしゃいました就労支援B型事業運営補助に対する要請、実は1月に要請がございました。この就労を希望する障がい者が通所し、自立した生活や社会生活を営むことができるよう、ちむぐるが平成23年10月に開所し、たんぼぼが平成26年4月よりスタートしております、やはり両施設とも賃貸で

あるということ、施設を維持管理するためには継続してメンテナンスをしなければならない等、要請がございまして、村長の判断で運営補助を計上することができました。今、知念議員がおっしゃるよう、施設が運営管理できるように引き続き補助を担当課としては考えておりますので、引き続き計上したいと思っております。以上でございます。

○ 議長 島袋義範君

9番 知念一邦議員。

○ 9番 知念一邦議員

大変ありがたいことであります。言われますように、施設の改修、これまで既存の建物を使用してきて、ちむぐくるさん、そしてたんぼぼ作業所というところで改造等いろんなものがありまして、多額のお金を要するということもありまして、これまで入所者の皆さんの利便性を図りながら頑張ってまいりました。そういうことで、今回の補助金に対しては、これからも入所者の皆さんの利便性を図れるように、恐らくまたこの運営に関しましても頑張ると思っていますので、これからもぜひ御支援いただきたいと思っております。よろしくお願ひします。

○ 議長 島袋義範君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島袋秀幸君

福祉課長からもありましたが、引き続きそういう固定経営の部分については、村として支援をしていきたいと思っておりますが、将来的にはぜひ自立支援ですので、障がい者の皆さんがそういう部分でB型の就労支援の作業所を立ち上げて、自分で自立して社会生活を営むというのがそういう方向性ですので、村としても固定的部分については支援をしていきますし、本来の目的であるそこに入所されている皆さんの将来的な自立支援に向けて、村としても一生懸命支援をしていきたいと思っております。そういう中で、いろんな事業を展開されていると思っておりますが、そういう中で村として協力できる事業等があれば、今後またそういう作業所の管理者、または施設長とも随時調整をしながら、そのB型就労支援作業所の本来の目的が遂行できるように両作業所の支援を今後とも村として一生懸命努力をしてまいりたいと思っておりますので、作業所においてもまた引き続き御努力をお願いしたいと思っております。

○ 議長 島袋義範君

11番 内田竹保議員。

○ 11番 内田竹保議員

25ページ、3款1項5目戦跡保存費の中の細節1311. 村民収容地跡記念碑移転事業、これは名護市久志区の件だと思います。この久志区については、先輩たちがよく久志グワァ時代があったということでよく話を聞くのでありますが、移転後の工事を完工しますと、恐らく除幕式あたりも計画しなければならないのではないかと思います、その除幕式あたりの持ち方について、そこを体験された皆さんをぜひ案内すべきではないのかという感じがします。だんだん高齢化しており、この機会に71年前の生活の模様を思い出すということからしても、そこで大変御苦労された皆さんも案内をして、現地まで連れていくべきではないのかという思いがありますけれども、完成後のこういった計画はどのようにお考えなのか、お伺ひします。

○ 議長 島袋義範君

福祉課長 金城和廣君。

○ 福祉課長 金城和廣君

内田議員の御質問にお答えします。

まず名護市の収容地跡記念碑の移設工事につきましては、戦後70周年記念事業ということで、平成27年度

で完了し、建立のときには式典を行いたいということで、予算を計上してあったんですけども、名護市の今移転先の農業振興地域となっておりますので、その解除の手續に平成28年度の上半期はかかると。9月ごろになるだろうと、あくまでも予定でございますが、それに基づきまして、新たに平成28年度の予算に計上しているところでございます。今、内田議員から御質問があった、その際の式典、建立につきましては、どういうふうに考えているかということにつきましては、今、そこの式典会場の近くに、久志区が管理をしているゴルフ場があるんですけども、そのレストランを使って、そこに村民が車、大型車両を2台を計上してありますけれども、その式典のときには、去る渡嘉敷村、座間味村みたいな感じのそういう式典をやったらいいかという思いで計上はしてありますので、実施の際にはそういったもろもろ、また住民の方々の御意見も聞きながら進めていけたらと思っております。以上です。

○ 議長 島袋義範君

11番 内田竹保議員。

○ 11番 内田竹保議員

大変ありがとうございます。当時、大変苦勞された方々が大変いらっしゃるわけでありまして、よく先輩方の話を聞くときに、久志グワァから本部まで夜通し歩いて、サツマイモを担いできたとか、いろんな思い出話がよく聞こえるわけです。そういった観点からしましても、まあいい方は悪いんですが、済みません、その先輩方の皆さん、今回を逃すと年齢的なものもありますので、今回が絶好のチャンスではないのかという感じがしますので、ぜひ計画をしていただき、応募をしていただいて、そこで生活した皆さんに多く声かけをして、ぜひ一緒にその式典に参加をさせていただきたいと思っておりますが、今後ひとつ御検討をよろしくお願い致します。

○ 議長 島袋義範君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島袋秀幸君

よくわかりました。慶良間の渡嘉敷村、座間味村については、村制100周年のときにも訪問をし、感謝の集いもして、また昨年、戦後70周年でも座間味村、渡嘉敷村は訪問をして、これまでのことについて感謝をしたわけですが、久志については100周年のときにもやっておりますので、今回そういう感じで久志のほうに多くの皆さんが参加されるように、村として努力をしていきたいと思っております。

○ 議長 島袋義範君

3款民生費ございませんか。〔「進行」の声あり〕

休憩します。

(休憩時刻10時59分)

再開します。

(再開時刻11時15分)

4款衛生費。33ページから41ページ。10番 名嘉 實議員。

○ 10番 名嘉 實議員

39ページをお願いします。産業廃棄物処分場について伺いたいんですが、コンクリート殻を粉砕してありますよね。あれはこの予算書ではどこに入りますか。それと幾らかかって、目的は何ですか。もう1点、4款2項1目14節使用料及び賃借料の細節8. 借上料、スサカは聞いたんですが、そのほかにどこがありますか。

○ 議長 島袋義範君

建設課長 並里晴男君。

○ 建設課長 並里晴男君

ただいまの名嘉議員の質疑にお答えします。

産業廃棄物処理施設内でのコンクリートの破砕につきましては、これまでいろんな建設現場から出てきた

コンクリート殻を村の処理施設場で受け入れていましたが、それを埋めるよりは、それを破砕して、それをまた今後農道補修とか、そういった一般的な維持管理ができるような場所へ利用したほうが効率もいいし、また産業廃棄物処理施設の延命化にもつながるといことで、今回それを破砕処理しています。なお、この破砕処理の予算につきましては、14節の使用料及び賃借料の中の細節8の借上料、重機の借上料でそれを処理しております。2点目の同じく14節の細節8の借上料のうち、スサカ処分場の借上料とそのほかは400万円の先ほど申し上げたスサカ処理場及び産業廃棄物処理場でのいろいろな、先ほど申し上げた重機類を使用する可能性もありますので、その借上料として重機料を予定しております。つまり用地費とそのほかは重機使用料として予算計上してございます。

○ 議長 島袋義範君

10番 名嘉 實議員。

○ 10番 名嘉 實 議員

産業廃棄物処分場に一旦持ち込んだものは、そこから持ち出せないという法律があるそうですが、どうですか。

○ 議長 島袋義範君

建設課長 並里晴男君。

○ 建設課長 並 里 晴 男 君

その点につきまして、北部保健所にそのような対応というのを一応確認をしています。その中で今年度、と申しますのも、今週中に保健所からはそのような対応ができるという説明がありまして、その説明を今週くる予定になっております。以前に保健所のほうに申し上げたときは、やはり最終処理の産業廃棄物のものですから、なかなか厳しいということも聞いていたんですが、村としましては、それをほかの事業とかで、事業というか、いろんな項目で捨てるわけでもなくて、有効活用したいという趣旨で一応保健所へ説明して、先ほど申し上げたことが可能だということをお聞きしていますから、近いうちにその内容については御説明もできるかと思います。

○ 議長 島袋義範君

10番 名嘉 實議員。

○ 10番 名嘉 實 議員

粉砕した殻は今まで使われていませんか。

○ 議長 島袋義範君

建設課長 並里晴男君。

○ 建設課長 並 里 晴 男 君

これまでも以前に申し上げたとおり、このコンクリート殻が埋め土処分をしますと、産業廃棄物処理施設のかなりの圧迫になるということから、以前に大きな大型工事のときは本島外へ搬出する予定でしたが、本島外へやるにも経費もかかるということから、スサカ処理場に搬出しまして、それをまた破砕しまして、それを各工事現場などの敷地、あるいは仮ヤード、そういったたぐいへ有効利用して、今、活用もしております。農道補修、あるいは浸透地区とか、やったところにも一般財源を、一般財源というか、材料を購入しないでもそのほうで活用できるところには活用してきています。

○ 議長 島袋義範君

10番 名嘉 實議員の本件に関する質疑は、既に3回になりましたが、会議規則第55条ただし書きの規定によって、特に発言を許します。10番 名嘉 實議員。

○ 10番 名嘉 實 議員

有効利用をしているということでしたが、これは無料で使っているということですね。

○ 議長 島袋義範君

建設課長 並里晴男君。

○ 建設課長 並里晴男君

無料といいましても、あくまでも公共施設等の関連する事業、つまり役場が主体する事業というか、そういったところに活用しています。

○ 議長 島袋義範君

9番 知念一邦議員。

○ 9番 知念一邦議員

40ページ、2項2目E&Cセンター運営費、13節委託料、細節103. 法定点検委託料に関してですが、平成16年4月に本格稼働しましたE&Cセンターですが、3年ごとに法定点検されているということで、やっているということで、稼働時からこれまで法定点検をした結果、許容範囲の中の数値に当てはまっているか、後ほどよろしいです。議長、資料の提供のほどをお願いしたいんですが。

○ 議長 島袋義範君

ただいま9番知念一邦議員から産廃場の法定点検の資料提出の要求があります。

お諮りします。本資料を議会で要求することにしたと思いますが、御異議ありませんか。〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。したがって、ただいま要求のありました資料を議会で要求することに決定しました。

村長に、ただいまの資料の提出を要求します。

建設課長 並里晴男君。

○ 建設課長 並里晴男君

ただいまの知念議員の委託料の中の細節103. 法定点検委託料につきましては、この法定点検委託料につきましては、年1回実施します。年3回と申し上げましたのは、細節105. 機器精密機能検査委託料、これについては法的に3年に1回ということで、この委託料につきましては3年に1回の法定点検料という御説明を申し上げました。先ほど知念議員から要求のありました資料については、また後ほど提出したいと思います。

○ 議長 島袋義範君

9番 知念一邦議員。

○ 9番 知念一邦議員

大変誤解をして、聞き間違いをしておりましたが、これまでの点検、毎年ごと、3年ごと、いろんな点検を行って、その許容範囲に入っているかどうかということで確認をしたいということで、また資料の提出があれば、またこの範囲内で収まっているということで理解してよろしいでしょうか。そしてこの範囲内であれば、これも毎年3年ごとの点検は欠かさず実施するように要求いたします。以上です。

○ 議長 島袋義範君

建設課長 並里晴男君。

○ 建設課長 並里晴男君

この法定点検料、特に公害でありますダイオキシン類の検査の結果につきましては、毎年北部保健所への報告をしています。つきましては、知念議員がおっしゃった基準値の範囲内には、毎年その範囲内で対応しているということでもあります。それから今後も引き続き、施設を維持管理等をしながら、この基準値はもちろんクリアすべき課題でありますから、そのような方向でまた維持管理をしていきたいと思っております。

○ 議長 島袋義範君

3番 山城善彦議員。

○ 3番 山城善彦議員

38ページの15節工事請負費の細節1314. 明るい村づくり事業（推交）についてであります。今回これは推交によりまして、既存の外灯をLEDにかえるということの説明だったと思うんですが、200基です。それについてなんですが、今回、新設という形は考えていないんでしょうか。

○ 議長 島袋義範君

建設課長 並里晴男君。

○ 建設課長 並里晴男君

私、説明で今回200基のうち、新規を35基、既設の取りかえを165基と説明申し上げたつもりであります。つきましては、新設については今のところ35基という予定でございます。

○ 議長 島袋義範君

3番 山城善彦議員。

○ 3番 山城善彦議員

失礼しました。聞き逃したようでありますが、申しますのは、この35基について今、場所は確定しているんでしょうか。

○ 議長 島袋義範君

建設課長 並里晴男君。

○ 建設課長 並里晴男君

35基ということと、165基あわせて、200基について今、調査をしていますが、説明でも申し上げたつもりなんですが、主に幹線、幹線というのは大きな道路を主体として、集落内の幹線を主体としまして、それから学校施設周辺等も優先しながら、今のところその調査をして、大まかではありますが、その内容的には煮詰まってきました。ただし、まだそれを御提示できるような状況ではありません。つまりそういったところももう一回、新年度に入りまして、しっかり庁議内、それから区長会等にいろいろ御説明をしながら、実施していきたいと考えていますので、今のところ具体的内容はちょっと示唆できませんが、今後いろんなところに報告をして、実施していきたいと考えているところです。

○ 議長 島袋義範君

3番 山城善彦議員。

○ 3番 山城善彦議員

場所については、今後検討するという事なので、こちらのほうからお願いしたいんですが、ずっと以前から西崎、真謝の通学路といいますか、自転車で通学している子どもたちが大勢いるんですけども、冬場の部活が終わって帰るときは真っ暗なんです。今の外灯の間隔が大分広いです。ですからそこをまず夜通ってみていただいて、どういうところにどういうふうな数が必要なのかということを見てもらって、それからぜひ検討をしていただきたいと思います。特に西江上のアハンニから西側に行くところがあるんですけども、このアハンニ自体も暗くて、そこから自転車通学で通っている子どもたちが西崎方面へ行ったりするんですけども、そのほうも外灯が大分少なく、ぜひ現場を実際に見ていただいて、昼に見てもわかりませんから、やはり夜に回っていただいて、ぜひ御検討をお願いしたいと思います。以上です。

○ 議長 島袋義範君

建設課長 並里晴男君。

○ 建設課長 並里晴男君

議員お説のとおりでありますし、また平成27年度もこの事業実施をしまいたところなんです。そこで先ほど申し上げた場所とかというの、また今後確認をしていきます。もちろん各担当、あるいは私としましても、基数があって、この間隔といいますか、間隔については、いろいろな立場からも検討しながらやっていっていますので、今まで申し上げた中では、平成27年度につきましても、外灯設置をしたことによって明るくなっている箇所もあります。今、申し上げたとおり、平成28年度、平成29年度まで予定していますので、そこら方面、西崎、真謝地区へのところにつきましても、その位置が計画通りいくのかどうかわかりませんが、とりあえず平成28年度、平成29年度で実施計画もしていきますので、ひとつよろしくお願ひします。

○ 議長 島袋義範君

進行してよろしいですか。42ページ。5款労働費、6款農林水産業費、43ページから61ページまで。
7番 渡久地政雄議員。

○ 7番 渡久地政雄議員

歳出46ページをお願いします。その中の細節1320. 伊江村黒糖工場廃水処理施設整備事業の推交なんですけれども、昨日の担当課長からの説明では、これまで村の一括交付金で要請しておりましたけれども、今回はこの予算は県からの予算ということで、廃止になっていると思うんですけども、実は去る2月18日に私たち市町村の議会運営委員会の研修がありまして、その中で沖縄県企画部市町村課課長からの推進についての勉強会の中で、交付決定額が312億円、そして年度内の執行額が232億円、これは県ですけども、不用額が不用額が15億円、そして翌年度への繰越額が65億円ということで、今日まで実施されていない町村の推交については流用したということで、不用額等とかは市町村間で流用を行うということで、その間に伊江村の今回も全額というか、3億円ですね、前年度の予算と同じ特別一括交付金が今回も予算化されておりますけれども、満額行ったことで優秀だということであつたでしょうけれども、今回このように例えば村の一括交付金で予定していたものが、県からの一括交付金になるとこれが不用になるのか、まず1点です。そしてその中で県の離島振興分野の中で、離島へき地の住環境の充実、島外での妊婦等、検診等の運賃等の支援について、伊江村立診療所人工透析施設整備事業が実施されたということで、すばらしく皆さんに説明されたわけですけども、伊江村は満額一括交付金を活用したのか。また、例えば村の予定が県予定になった場合の剰余金ですか、これもほかに充てる予定があるのか、お伺ひします。

○ 議長 島袋義範君

政策調整室長 宮城弘和君。

○ 政策調整室長 宮城弘和君

1点目の沖縄振興特別推進交付金事業の今回の黒糖工場の事業が県の一括交付金で実施されるということで、村の一括交付金に不用額が出るのではないかと御心配でございますけれども、この事業につきましては、当初、農林水産課長からも御説明がございましたけれども、沖縄特別推進交付金事業で実施する予定でございましたけれども、その事業の穴埋めといいますか、別の事業を今後構築いたしまして、特別推進交付金事業は満額活用していくということで、今、調整を進めさせていただいているところでございます。

○ 議長 島袋義範君

7番 渡久地政雄議員。

○ 7番 渡久地政雄議員

前年度は全額実施されたのか、そして今回はまたほかに充てるということで安堵しておりますけれども、他の市町村ではやはり使い切れなくて、不用額が出たりして、これを何億円か市町村間で流用しているわけです。今回もそれについて積極的に他市町村に不用額が生じた場合は、お互いが流用、活用できるようにということで、県の不用額の圧縮に向けて計画されているわけです。その中で伊江村としては、3億幾らかあ

と思うんですけれども、全額実施されたわけです。そして今年度も3億円ぐらい予算がありますけれども、足りているかどうか。もしこれがもっとほしいのであれば、県の不用額をまた予算請求できないか、これを聞いたかったわけです。

○ 議長 島袋 義範 君

政策調整室長 宮城弘和君。

○ 政策調整室長 宮城 弘和 君

大変失礼をいたしました。ただいまの御質疑にお答えしたいと思います。

沖縄特別推進交付金につきましては、平成27年度から、本村につきましては全額使用させていただいております。これは県内で唯一伊江村のみということになってございます。それと市町村間、流用につきましても平成27年度も他市町村の不用額について、伊江村においては、それを活用して事業を進めているというところでございますし、今後とも基本枠の3億1,500万円、プラスまた市町村で不用額が出た場合には、それも活用しながら事業を進めていきたいと考えてございます。

○ 議長 島袋 義範 君

2番 島袋 勉議員。

○ 2番 島袋 勉 議員

歳出の46ページのほうで細節1319、伊江村アジア野菜導入事業（推交）なんですけど、これは平成27年度にも予算というか、事業の計画が入ってまして、今回、工事費等も計上されているんですけど、どういった流れでここまで来ているのかというのが全然見えてこないんで、今までどういった流れで、その事業が進行しているのか、説明をお願いします。

○ 議長 島袋 義範 君

農林水産課長 知念吉久君。

○ 農林水産課長 知念 吉久 君

アジア野菜の導入事業につきましては、平成27年度、可能性調査ということで、今年度実施しております。アジア野菜についての生産、販売等の可能性調査ということで、生産が実際可能なのか、そしてそれが生産できた場合、流通販売していく工程というんですか、その辺の調査をしております。それをもって、今回まだ3月までですので、ちゃんとした実績報告書はまだ上がっておりませんが、3月中には上がりますので、それをもとに新年度はその可能性調査をしました3品目をまず試験栽培するためのハウスの工事費と、それを販売したものの再度流通までのその辺のものを再度調査するための事業として、平成28年度まで継続してやっていくということで、進んでおります。

○ 議長 島袋 義範 君

2番 島袋 勉議員。

○ 2番 島袋 勉 議員

それではこの事業は今回、平成28年度で強化ハウス等だと思うんですけど、これは農家サイドに委託するのか、そして今回また3品目ということがありましたが、それを見据えながら、また新たな品目もどんどん導入する考えがあるのか、その辺、再度お伺いします。

○ 議長 島袋 義範 君

農林水産課長 知念吉久君。

○ 農林水産課長 知念 吉久 君

まず今回は3品目ということで、試験栽培の予定でございますが、これについても実際ハウスをつくって、その中でやるものについては直接農家さんへやってもらうという形ではなくて、その委託をかけるときに、

そこまでこの事業の中でやっていきたいと考えています。それと今回試験してきました3品目から新年度はまた新たに3品目ほど設定して、栽培も試験もやっていきたいと考えています。

○ 議長 島袋 義範 君

2番 島袋 勉議員。

○ 2番 島袋 勉 議員

ぜひ新たな有望品種でありますし、今まで新規作物がまだまだ出てきていない状況であります。平成28年度において、また新規の作物をどんどん探していただいて、新たな農業の所得につなげていただければと思います。私たち伊江村は他市町村には少ない農業普及員もおりますので、ぜひそういった人材の方も十分活用されて、情報を収集していただいて、今回、平成28年度には、ある程度、優秀な作物を出していただくように希望します。以上です。

○ 議長 島袋 義範 君

10番 名嘉 實議員。

○ 10番 名嘉 實 議員

同じ問題ですが、これは周年栽培をするという計画ですか、台風にも強い強化ハウスをつくるということですが、どうですか。

○ 議長 島袋 義範 君

農林水産課長 知念吉久君。

○ 農林水産課長 知念吉久君

ハウスの中では周年栽培の試験と、それと施設外でも、露地での試験予定も考えております。

○ 議長 島袋 義範 君

10番 名嘉 實議員。

○ 10番 名嘉 實 議員

これは鉄骨ハウスですか。

○ 議長 島袋 義範 君

農林水産課長 知念吉久君。

○ 農林水産課長 知念吉久君

鉄骨ではなくて、強化型のパイプハウスです。

○ 議長 島袋 義範 君

10番 名嘉 實議員。

○ 10番 名嘉 實 議員

議員研修のときに南部の農業試験場を見てきたんですが、すばらしい施設ではあったんですが、ああいう立派な施設をつくったら、農家は多分赤字になるだろうと感じました。農家に普及をする目的があるならば、農家経営、このハウスをつくることによって経営が圧迫されないような施設をつくったほうがいいと思いますが、栽培だけではなくて、利益の出るような施設をつくってほしい、普及できるような、と思いますが、どうですか。

○ 議長 島袋 義範 君

農林水産課長 知念吉久君。

○ 農林水産課長 知念吉久君

もちろん収支が一番でございますので、赤字になるような経営では困りますので、まずは今年度の調査計画の中でもまずは収支面を第一に取り上げて、その辺の計算からしっかり生産したものの値段と、それとか

かった値段と、その辺のものをしっかり計算といいますか、やった上で、それをちゃんと示した上で、生産にかかれるように、名嘉議員から言われたその辺のものを第一に考えて、計画はやっているつもりであります。

○ 議長 島袋義範君

3番 山城善彦議員。

○ 3番 山城善彦議員

47ページの6款1項3目18節備品購入費、細節1321の堆肥散布機購入事業についてなんですが、これについて二、三お伺いいたしますが、これはクローラー式なのかどうかということと、それと自走するわけですから、移動には時間がかかると思うんです。それについて移動のときにどういう対応をするのかということと、またほかの車の運転手とかもいたり、いろんなことがあると思うんですけれども、そういったときにいろいろ一つの堆肥を散布するのにいろんな方々が携わるわけですが、それをいちいち計算されたのでは農家は大変ですから、そこら辺を考慮して、今でも堆肥運搬に関して、例えば2トンで運搬したときに消費税がどの、4トンで運搬したときに立しょう性がどのと、少し細かい苦情もありますので、そこら辺をあまり農家に負担をかけないような状況でのやり方をお願いしたいと思いますが、どうですか。

○ 議長 島袋義範君

農林水産課参事 宮里政喜君。

○ 農林水産課参事 宮里政喜君

山城善彦議員の質疑にお答えいたします。

まず散布機についてクローラー式なのかということですが、今、考えているのはおっしゃるとおり、クローラー式です。クローラーというのは設置面が大きいものですから、それに伴って、下の土が硬くならない、踏圧の問題が発生しにくいという考えがありますので、そういったクローラー式の機械を今、考えております。それから移動についてはトレーラーという形で今、考えております。それから経費については、現状では堆肥センターの既に条例で規定してあります散布料を前提に今、考えておりますけれども、これについてもまたおっしゃるとおり、圃場が小さかったり、あるいは施設の中ですと、そういった散布するのに時間がかかったり、それにかかる人数等も少し増えますので、そういったことも考えながら、また農家の意見も聞きながら、今後検討する余地はあるかと考えておりますので、そういった経費につきましては、実際やりながら、今後検討する余地があると考えますので、そういう方向で検討していきたいと考えております。

○ 議長 島袋義範君

5番 内間広樹議員。

○ 5番 内間広樹議員

歳出47ページ、細節1186. 青年就農給付金事業、平成28年度より3名新規就農される方への支援事業ということですが、この3名のつくっている作物をお伺いします。それとその下の細節1322. 土作り支援事業についても細かく今、決まっている範囲でも結構ですので、どういう事業、支援の仕方をするのか、お伺いします。

○ 議長 島袋義範君

農林水産課長 知念吉久君。

○ 農林水産課長 知念吉久君

青年就農給付金につきましては、平成28年度の予定が、お配りした資料にもあるかと思いますが、花卉で2名、野菜で1名の3名を予定しております。

○ 議長 島袋義範君

農林水産課参事 宮里政喜君。

○ 農林水産課参事 宮 里 政 喜 君

それでは土作り支援事業についてお答えいたします。

この事業につきましては、推交というふうに括弧書きされておりますけれども、一括交付金事業で今、計画を進めているところでございます。最初の説明でありましたが、堆肥の購入助成、それから堆肥の散布する料金の助成ということで今、計画を進めておりまして、助成の補助率につきましては、2分の1、これにつきましては、消費税分は農家のほうに負担していただきまして、堆肥の消費税を抜いた価格の2分の1を助成したいということで今、事業を構築しているところでございます。全体の量としましては、堆肥の袋詰めが2万袋、そして完熟堆肥が今300トン、中熟堆肥は1,500トン、それから散布量につきましては900トンということで、事業を今、申請しているところでございます。構築しているところでございます。それからその中に緑肥の種子購入、それも含めております。それについては23.85ヘクタール分を助成するというふうに今、予定しております。なお、この事業は平成28年度から平成32年度までの5年間を継続して実施したいということで、事業を構築しております。この堆肥の助成の作物につきましては、できるだけ村内の農家にとということで、特に作物を限定しているところでは今ございません。村内の全作物にできればということで今、事業を進めているところでございます。

○ 議長 島 袋 義 範 君

8番 亀里敏郎議員。

○ 8番 亀 里 敏 郎 議員

47ページの先ほど内閣議員と関連しまして、細節1186の青年就農給付金事業について関連して伺いたいと思います。この事業は農業者育成のためにすばらしい事業だと思います。年齢が原則45歳未満。そして認定新規農業者であること。そして最長が5年間、年間最大150万円給付すると。これは条件としまして、親の経営に従事してから5年以内に継承する場合は、その時点から対象とするということで、関連しまして伺います。御承知のとおり、私ども漁業従事者においても、かなり減少傾向の一途をたどっている状況でございます。そこで質疑の趣旨としましては、そういう事業を私ども漁業従事者にも適用できるような事業は探すことはできないか。それとまた構築することはできないか、お伺いしたいと思います。できましたら村長お願いします。

○ 議長 島 袋 義 範 君

農林水産課長 知念吉久君。

○ 農林水産課長 知 念 吉 久 君

初めに私のほうからお答えさせていただきます。

農業に関する青年就農給付金にかわる同等の事業が漁業従事者に適用される事業がないかという御質疑でございますが、今のところ、この中では示されていないわけなんです、私の記憶、間違いかもしれませんが、実際にそういった事業が構築されているのか、その辺の確認はぜひさせていただきたいと思っておりますし、そういった事業があればどんどん活用できるような方向で考えていきたいと思っております。また実際、ない場合は、そういったものが今後できるのか、県へそういった形で要望もしていきたいと考えております。

○ 議長 島 袋 義 範 君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島 袋 秀 幸 君

農林水産課長からもありましたが、私も亀里議員と一緒にそういう思いです。農業が先にやって、あと漁業というのがこれまでもいろんな制度でありました。認定農家制度というのがありましたが、そういうとき

にも私も申し上げましたが、認定漁家みたいな制度はないんですかという部分も申し上げました。そういう中で、農業従事者を支援するいろんな制度、助成事業というのは、先ほど農林水産課長が答弁したとおり、今後、県、あるいは水産業改良普及所ですか、その辺の部分でいろいろ勉強させたいと思っていますが、今の現行ではその農業の青年就農給付金みたいな使い勝手のいい事業は多分ないのではないかと考えておりますので、県のほうに、農業はあるのに、なぜ漁業はという部分がありますから、漁業関係者、県の職員を含めて、早目にそういう漁業者についても農業と同じような就農ではなくて、就漁制度を早目に立ち上げるような努力をぜひ国も県もやっていただきたいということは、今後、私も申し上げたいと考えておりますし、国、県のその辺の部分を見ながら、村としてどのような支援策があるかというのは、今後、検討を加速させていきたいと考えております。

○ 議長 島袋義範君

8番 亀里敏郎議員。

○ 8番 亀里敏郎議員

前向きな御答弁ありがとうございます。ハードルはかなり高いかもしれません。そして私どもは全国で漁業に従事する方は40万弱なんです、実を申し上げます。そして沖縄県におきますと、2万人、1万人を割っている状況であります。政治力もかなり弱いところもありますが、私たち小さい自治体からそういうことを発信していったら、ぜひそういう制度が確立するように、機会あるごとに皆さんで訴えていただければと思います。以上、切望しまして、質疑を終わります。ありがとうございます。

○ 議長 島袋義範君

休憩します。

(休憩時刻11時58分)

再開します。

(再開時刻13時30分)

午前に引き続き6款農林水産業費について質疑を許します。7番 渡久地政雄議員。

○ 7番 渡久地政雄議員

質疑の前に訂正を1つ、1カ所お願いしたいと思います。私、先ほど伊江村黒糖工場廃水処理施設等において、議会運営委員会の組織で、県の出張と言ったらしいんですけれども、正式名は沖縄県町村議会議員事務局研修会ですので、訂正をよろしく願いいたします。

それでは質問させていただきます。6款の農林水産業費、51ページをお願いいたします。14節使用料及び賃借料の中でソーラー外灯の30基の撤去が予算化されました。これまで私、再三再四、その外灯については質疑したわけですが、やはり当時としては、スマートで、ソーラーということで、コンパクトで、近隣の皆さん、あるいは住民から大変明るくて喜ばれましたけれども、耐用年数がなかなか短くて、そのまま全区で30基だったと思うんですけれども、もう1つもつかない状態の中ではあるんですけれども、今日までその上に再度、球をかえてできないかということをやったわけですが、そのソーラー球を使っては外灯はできないという答弁でありました。先ほどの第4款の衛生費の明るい村づくり事業で山城善彦議員が質疑したわけですが、今回200基中は、165基はLEDに、残りの35基は新規でやるということで、建設課長の説明の中で学校周辺、もちろん生徒の下校時を勘案すると最優先してほしいのはやまやまです。しかし、その後に今後、平成27年度、平成28年度、平成29年度までということもお伺いしたわけですが、今回、これは完全撤去ですか、それともその後に新たに外灯が設置されるのか、お伺いします。

○ 議長 島袋義範君

農林水産課長 知念吉久君。

○ 農林水産課長 知念吉久君

ソーラー外灯の撤去につきましては、前年度も撤去費を計上して、再利用を検討したいということで、実

施しなかった状況でございますが、さらに検討をやっていく中で、再利用は無理だという判断になりまして、今回は今まで設置したその外灯を全部撤去ということでの計画でございます。新たにそこに立てかえるということではなくて、全部撤去する費用でございます。

○ 議長 島袋義範君

建設課長 並里晴男君。

○ 建設課長 並里晴男君

渡久地議員の質疑に、先ほどの明るい村づくりの事業も関連しますので、答弁したいと思います。

お説のとおり、ソーラー外灯と新しくやる計画の中で、私たちの計画の中に、そのソーラー外灯が近くにあった場合、それが私たちの事業で、近くに電柱があれば可能ではないかとか、しかし、全然電柱がなくて、私たち事業の中ではなかなか今回はできなくても、それが区とか、そういったところからやはり必要だということがあれば、必要があればというか、そういった申請も含めてやることにしています。つまり先ほどはソーラー外灯の撤去の費用として計上されていますが、そこは建設課と農林水産課が連携してやっているところです。

○ 議長 島袋義範君

7番 渡久地政雄議員。

○ 7番 渡久地政雄議員

当時、それを設置するに当たっては、各区の区長の皆さんが地域を回って、そこが一番適材適所だということで設置した状況であります。現在見ますと、まだまだ今、課長が言うとおおり、近くに電柱があつて、新しい外灯がついたところは別にそれでいいんですけども、それを許可して、土地を提供した地主から新たにどうにかできないかということで、今でもまだ暗い箇所があるんです。ですので優先的にしてくれないかという要請、要望もありますので、ぜひ近くに設置されたところはよろしいとして、暗いですので、そこをもう一度ぜひつけてほしいという要請も多々ありますので、最優先してほしいと思います。以上です。

○ 議長 島袋義範君

建設課長 並里晴男君。

○ 建設課長 並里晴男君

お説のとおり、地域の方々、各区、そして農林水産課がまた連携して、設置する場所については協議しながら進めていきたいと思います。

○ 議長 島袋義範君

農林水産課長 知念吉久君。

○ 農林水産課長 知念吉久君

同じ答えになるかもわかりませんが、こちら撤去に際しまして、実際、状況がどうなのかというものも確認しております。既に近くに新しい外灯ができて明るくなったところとか、そういう箇所もありますが、実際にまだ必要だという箇所も見受けられます。その辺は先ほど建設課長からあつたとおり、連携しながら考えていきたいと思います。

○ 議長 島袋義範君

農林水産業費、まだありますか。11番 内田竹保議員。

○ 11番 内田竹保議員

49ページ、2点ほどお伺いいたします。18節の備品購入費、その中で牛温恵も含まれているという説明を聞いた覚えがあります。この牛温恵を今回導入するに当たって、何個というんですか、この呼び方は。何個で、農家によっては飼育頭数が違うわけですけども、希望があれば全農家対象になるのか、恐らくこれは

自己負担分もあるのかとは思いますが、どのような方法でその牛温恵を使用していくのかということが1点と、それから細節1312. 肉用牛繁殖基礎雌牛地域保留促進事業、これは保留する子牛に対して15万円の60頭が計画されております。その場合、例えば優良系統と言われている、今でいう種雄が美国桜とか、また母牛で安福久、勝忠平というのがありますけれども、優良系統を行政のほうで、この牛は保留してほしいと。その系統は保留すべしということで指導をされるのか、全頭数、本人から希望があれば、その優良系統に関係なくて助成対象となるのか、その2点をお伺いします。

○ 議長 島袋義範君

農林水産課長 知念吉久君。

○ 農林水産課長 知念吉久君

まず初めの牛温恵等に関する事業でございますが、その件につきましては、まだ県のほうでの事業構築も実際されてない関係がありまして、予算上は費目存置にしているところでございますが、これは県単独の事業でございます、その事業の説明が新年度になったら多分出てくると思っています。それで一応すぐ事業が開始できるように予算としては費目存置として上げているところでございます。事業費としては、全体で300万円ほどということで、これからそういった県の説明を受けた上で、さらに村での説明等を踏まえて、事業を実施できるようにということでの予算措置をしているところでございます。それと保留牛につきましても、優良系統、その辺の内容はまだ細かく要項が設定と申しますか、ちゃんとした要項がまだできていないと。その中でそれを改良組合やJAと一緒に、中身は十分に検討した上でやっていきたいと思っております。今の状況は県が今まで実施していた事業がなくなったので、それにかわるものとして、今回、村のほうで実施していこうということで、今、予算を措置しているところでございます。

○ 議長 島袋義範君

11番 内田竹保議員。

○ 11番 内田竹保議員

1点目の牛温恵につきましては、私たち経済の公営企業常任委員会で去年、宮崎県の都城市の農家を訪ねました。これは農林水産課長も一緒でした。その農家の話によりますと、分娩前、その前後、これまでは何回も牛舎に足を運んで、分娩をしていないかということで、労力も大分かかったという話がありましたけれども、それを設置したら、パソコン、あるいは携帯と連携をして、生まれる直前になって、どこの番の会議にいても、携帯がなるからすぐ帰れると。非常に労力的にも便利だというお話がありました。何か以前に、これはJAだったんでしょうか、牛温恵に対する調査というんですか、アンケートがあって、何か頭数、何頭以上の農家でなければ対象にならないと。それはあくまでも自己負担分もあることだろうと思っていたんですが、それで今回聞いたわけです。特に分娩になりますと、昼夜を問わず行るのが常でありまして、これを設置することによって、普段は牛舎に行かなくても大丈夫だというようなことで、農家の負担も大分軽くなるということですから、できる限り、それを先ほど県との今後の調整だということでしたけれども、希望農家がいれば、全農家を対象に設置をしていただきたいと。これは貸しつけになるかどうかはわかりませんが、その辺も考えていただきたいと思えます。

それと2点目の優良系統の件ですけれども、先ほど答弁がありましたとおり、今ちょうど私たちが経営している中でも競りに出せば、お互い農家同士の話ですけれども、競りに出せば80万円は下らないでしょうと。だけど、これを買うことはできないからそのまま保留にしてほしいというお互いの農家間の話し合いもあるわけです。ですから一つの手助けになるのかということを考えて、非常にこのすばらしい制度だと私は思っておりますので、ぜひこれを和牛改良組合、あるいはJAとの話し合いの中で、どういった種雄牛を対象にすると、あるいは母牛はどういったものを対象にするということで、その給付、交付方法を確立していただ

きたいと考えます。どうでしょうか。

○ 議長 島袋義範君

農林水産課長 知念吉久君。

○ 農林水産課長 知念吉久君

初めの牛温恵の件に関しましては、少し説明が漏れておりましたので、これも県の実施方針として、肉用牛の拠点産地を受けている市町村でやってもらう事業ということで構築されるようでございますので、それがはっきりし次第、すぐに手を挙げていきたいと思っております。実際に村内で1農家が実証試験みたいな形で、1年余り実際に試験をして、効果も相当にあるというふうに伺っておりますので、事業ができましたら、いち早く農家の皆さんに説明をして、事業の推進に当たっていききたいと思っております。

それと保留牛につきましても、これは一括交付金事業で事業計画を出しているところでございますが、まだ確定には至っておりませんので、それまでにその要項をしっかりと定めて、事業の確認がとれましたらすぐに取りかかっていけるように、準備に万全を期していききたいと思っております。

○ 議長 島袋義範君

10番 名嘉 實議員。

○ 10番 名嘉 實 議員

49ページ、19節負担金補助金及び交付金の細節109. 酪農振興対策事業補助金について。これは何に対する補助なのかということ。それから細節1252. 乳用牛繁殖雌牛更新事業についても400万円の補助があるんですが、これは1頭当たり幾らの補助ですか。

もう1点、細節1312についてです。阿良区で開かれた行政懇談会で自家保留する雌牛に対しても補助金を出してほしいという意見が出たことがありました。村長はそのときは自分で自家保留する牛に対して補助金を出すことについては納得できないというようなことで、もう一蹴されたんです。覚えていませんか。考えは変わったのか、その辺のところですか。

○ 議長 島袋義範君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島袋秀幸君

3点目を私からお答えさせていただきます。

阿良区の行政懇談会からそういう農家からの要望がありました。私はあのときは優良雌牛、県外の購入事業で自家保留の部分も島の競りに出して、村内の農家を買ったら、これを該当させてほしいというから、趣旨が違います。でも優良の牛を努力して農家が保留しているという現状は、十分認識していますから、別制度で保留事業については助成をしていきますということで、答えたとは思っています。行政懇談会では、県内、県外の市場から買って来たときに、1頭当たり30万円の助成をしています。それを伊江島内で保留している農家もいるので、その保留した農家が島の競り市場に計上したときに、自分が出て、自分で買って、自分で保留したそういう行為についてもこの優良雌牛の事業に該当させてほしいということでしたから、趣旨が違いますから、それは別個にでも要するに村内の農家でいい牛を頑張って売らないで、保留している方もいますから、それは別制度で自家保留制度で、今後検討していきましょうという部分で、ずっと私は担当課にもJAにも指示をしておりましたが、これまでは県の事業があったので、一括交付金ではできなかったわけです。今回、先ほど説明があったように、この県の基金事業の中で12万円を助成していた分が平成27年度で事業が廃止になったということで、伊江村としてはそういう部分で渡りに船ですので、平成28年度、村の推進交付金で自家保留の皆さんを支援していきたいということです。趣旨が違うので、この事業ではできませんと、私はそう答えたつもりです。以上です。

○ 議長 島袋義範君

農林水産課長 知念吉久君。

○ 農林水産課長 知念吉久君

細節109. 酪農振興対策事業補助金につきましては、生乳の出荷時、タンクローリーで出荷しておりますが、その輸送費の補助として、1キロ当たり1円の輸送費補助でございます。それと細節1252. 乳用牛繁殖雌牛更新事業につきましては、母牛の更新、乳牛の更新に際して1頭当たり20万円、それを1農家当たり5頭までということで、4農家ということで400万円を計上してあります。これは継続3年目になります。

○ 議長 島袋義範君

進行していいですか。8番 亀里敏郎議員。

○ 8番 亀里敏郎議員

60ページ、細節1324の漁船洗浄用備品購入事業について、もう一度説明していただけますか。

○ 議長 島袋義範君

農林水産課長 知念吉久君。

○ 農林水産課長 知念吉久君

この事業に関しましては、漁船を洗浄するためなんです。漁船の燃料消費を抑えて、漁船の延命化を図るための事業としての予算措置でございますが、村内3カ所の漁港、陸揚げ施設に漁船洗浄機、各漁港に1基ずつです。それと漁船が大型化しておりますので、その大型の漁船の陸揚げ台ということで、それを1基計画しております。

○ 議長 島袋義範君

8番 亀里敏郎議員。

○ 8番 亀里敏郎議員

特に2番目の船台についてです。1台、大変うれしいことです。今、自前のトレーラー船台では上架できない漁船が3隻あるのは御存じですよ。それでは私が提言したいのは、皆さんはどう考えているのかわかりませんが、1台で3隻、まして、またこれからこういうのが増えると思うんです。この1台の、ことしつくるんですね、これは予算かけてつくるわけですから、漁船の多目的です。船艇にあった船台をつくらなければいけないと思いますけれども、その辺はどのような考えをされているのか。漁協とも調整はあったと思いますけれども、いかがでしょうか。例えば一番わかりやすく言いますと、去年できました「みらい」は重量的には十分なんです。船名を言って申しわけないんですが、一番大きな船で、信戒1号は揚げようとしても入らないんです。こういうことが起きますので、船というのは全部船艇、船幅は違うわけですから、これに合ったようにつくっておかなければ、不要の長物になりかねないものですから、あえて私は内容を聞いているんですけども、いかがですか。

○ 議長 島袋義範君

農林水産課長 知念吉久君。

○ 農林水産課長 知念吉久君

漁船の大型化に伴うということで、その陸揚げ台を設置するということで調整しているところですが、実際、船ごとにその形が違って、対応できないおそれがあるということです。申しわけございません。その辺のものに関しましては、それが十分に対応できるような形で検討させていただきたいと思います。

○ 議長 島袋義範君

休憩します。

(休憩時刻13時56分)

再開します。

(再開時刻14時01分)

3番 山城善彦議員。

○ 3番 山城善彦議員

56ページの13節の委託料、カラス等駆除委託料についてなんですけれども、カラス駆除はこれまでもずっと継続してやられていると思うんですが、近ごろまた何か増えているような感じがしまして、その被害については近ごろ余り表に出てこないんですけれども、例えば牛の胎盤をくわえていたよという話もしたり、いろいろありまして、被害等も大分懸念されるわけなんです、これは今までどおりの猟銃による駆除なのか、それが1点。それとここ何年間の駆除の結果、大体1年に何羽ですか、駆除ができていますのか。効果は確かにあるのか、それをひとつお願いします。

○ 議長 島袋義範君

農林水産課長 知念吉久君。

○ 農林水産課長 知念吉久君

カラス駆除の方法といたしましては、現在考えていますのは、これまでどおりの猟銃による駆除でございます。この実績といたしましては、毎年の実績を今、手元に持っているわけではございませんが、例年駆除しているのは100羽前後を駆除しております。その効果は確かに出てはいると思いますが、表現としていたちごっこみたいな形になっているようなところもないとは言えないと思うんですが、実際には駆除できたところに関しては、そこからしばらくいなくなって落ち着いたとか、そういうような状況で、そのときどきに関しては効果は出ていると思いますが、実際には100羽前後の駆除でございますので、なかなか大きな効果を得られるまでには至っていない部分もあるかとは思っております。

○ 議長 島袋義範君

3番 山城善彦議員。

○ 3番 山城善彦議員

カラスの駆除については、これまでもいろいろ方法等、議論もあったように思いますが、前にも多分そういう話があったと思うんですが、今帰仁村、国頭村あたりでは誘殺というか、1匹カゴの中に入れて呼んで捕えるという方法も何かあったという話もありましたが、村についてもやはりいたちごっこという話がありますが、やはりいたちごっこになっているんです。これは本当にもうちょっと有効な手だてはないかということで、少し検討をいただきたいと思っています。ただ、この流れで多分きている状況だと思うんです。毎年計上して、これだけ駆除するという形だと思っておりますので、そこら辺をもうちょっと本格的にやっていただきたいと思っています。

○ 議長 島袋義範君

農林水産課長 知念吉久君。

○ 農林水産課長 知念吉久君

例年どおりの駆除という形でやっておりますが、毎年各市町村とか、ほかの方法で駆除しているところとかを見たり、方法も習ったりしているんですが、なかなか村に効果的なものが今のところ見つからないという状況ではございますが、今後もそれらをしっかりほかの方法も検討しながら駆除に当たっていきたいと思います。

○ 議長 島袋義範君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島袋秀幸君

少しだけ補足をさせていただきたいと思います。このカラス駆除は、北部全体の共通事項として、ずっと県のほうに要望しているところであります。特に今帰仁村のほうとか、東村とか、国頭村とか被害が多いと

ということで、県の買い取り事業もあるんです。伊江島はそれは今活用していないんですけれども。網で捕獲する方法もあるんですが、私が聞いた中では、やはり基本的に戻って、銃殺が一番効果があるという北部の首長の中ではそういう話になっていて、その中でも今帰仁村などは猟友会みたいな組織があって、その辺をうまく活用して、私たちは今委託していますが、個人で行った場合に賃金みたいな、報酬みたいな感じで費用を村が出して、やっているということでしたので、その辺を今帰仁村長に伺ったら、伊江村はそういう猟友会みたいな組織もない、あちらはあるみたいです。地元の方を活用したほうが良いということですが、伊江村も以前は銃の免許を持っていた方もいますが、多分、今はいろんな保管の中で検査とか非常に厳しいということで、みんな返還して、今ではいらっしやらないような話も聞いて、委託をしているわけです。北部全体としてもずっとカラス駆除の部分については、県のほうに要望もして、県も十分に理解をされていて、県独自の事業もやっていますので、担当課において、県とも連携をさせながらやっていきたいと思っておりますが、私が聞いた中ではやはり銃殺のほうが効果があるような話を聞いておりますが、とりあえずは村としてもこれまでどおりの銃殺をやりながら、またほかの方法がないか、今後さらに勉強していきたいと思っております。

○ 議長 島袋義範君

進行してよろしいですか。〔「進行」の声あり〕

7款商工費。62ページから65ページ。3番 山城善彦議員。

○ 3番 山城善彦議員

63ページの13節委託料の観光ビデオ DVD制作委託料についてなんですが、今回、一般質問の中でもやりまして、それをまたナレーション入りを今回やるということでありまして、多分、昨年12月だったと思うんですが、本部港のターミナルにおいても、そういった観光ビデオを流せないかという質問をしたときに、それも含めて検討するという多分、話だったと思うんですけれども、その後、そこら辺についてはどういう状況になっているか、お聞かせください。

○ 議長 島袋義範君

商工観光課長 東江民雄君。

○ 商工観光課長 東江民雄君

ビデオにつきましては、新年度でナレーションを入れていくということ。それと昨年12月定例会での本部港での放映ということございまして、商工観光課内で、そのことについて会議をしましたところ、今、はにくすにホールにDVD対応のテレビがあるということで、それを活用しようということで、話をしていたところございまして、それがまだ具体化されていないところがありますが、それを利用して行ってきたいということを今、検討しているところでございます。

○ 議長 島袋義範君

3番 山城善彦議員。

○ 3番 山城善彦議員

ということは、それを利用して今回やるという形だと思うんですけれども、どこの地域においても、こういうターミナル云々というときに、そういう観光ビデオというのが流れているわけです。例えば宮古とか、ここもそうなんですが、そういったところがありますので、今後やはり観光というのはいろんな要因があって、伊江島もたくさんの観光客が訪れるということが望めますので、ぜひピーアールに力を入れてもらって、伊江島をよく見てもらうという感じでもって、ぜひ検討ではなくて、即実行に移してください。よろしくお願ひします。

○ 議長 島袋義範君

商工観光課長 東江民雄君。

○ 商工観光課長 東江民雄君

議員お説のとおり、そういったことも含めて、観光客に伊江島をより認識していくために、それを設置していきたいと思います。それと12月定例会で島袋 勉議員からの一般質問がありました。港の装飾とあわせて、タッチゅんの等身大パネル等も今設置をする計画で進めておりますので、そういったものもあわせて、伊江島のピーアール、事前にピーアールできるグッズも今、準備しているところでございますので、あわせて進めてまいりたいと考えています。

○ 議長 島袋 義範君

副村長 名城政英君。

○ 副村長 名城政英君

ただいまの商工観光課長に補足説明させていただきます。この件については、本当に申しわけないと。当初予算でそういった件について、もう少し議論すればよかったと今、後悔をしているんですが、待合室のテレビを利用してというのは、これはちょっと向こうで待っている人が実際に亀里議員からもありました待ち時間が長いときに、向こうのテレビを見ている方がいらっしゃるんです。ですからそれ専用で設置をして、ずっと流しっぱなしでできるような方法をとらないといけないのではないかと思います。そういった方向で、少し予算もかかるとは思いますが、そういった方向で検討させていただきたいと思います。

○ 議長 島袋 義範君

2番 島袋 勉議員。

○ 2番 島袋 勉議員

一応これは全部に関連しますので、商工振興費の中で、観光・特産PR事業の概要というんですか、どういった内容でやっているか。

63ページの13節委託料の中で、ちょっと戻りますけれども、保育所の関連委託では砂場の検査委託料が入っているんです。保育所はです。ミースィ公園は砂場があるんですが、案外小さな子ども等が多いんです。実際、年1回ぐらいはそういった検査が必要ではないかと思うんですが、その委託料が入っていない。実際それでいいのかどうかということ、まずこの2点。それと62ページの7節賃金の細節1344. 観光地クリーン事業、この概要。この3つをお伺いします。

○ 議長 島袋 義範君

商工観光課長 東江民雄君。

○ 商工観光課長 東江民雄君

1点目のミースィ公園の砂場の検査ということで、保育所では委託料で組まれているけれども、それは必要ないかということの御質疑でございますが、これは今、私どもの中ではこれまでそういった検査があることは知りませんでしたので、その保育所の件を含め、保健所等とも確認いたしまして、それが必要なのか、必要であれば、また予算措置をしていきたいと考えております。そして2つ目の特産品PR事業でございますが、これまでそれぞれやんばるの産業まつり、離島フェアとか、ここに予算項目をつくっていたものを、その離島フェア、やんばるの産業まつり、それと村内、県外で行う祭りもこの中に含まれますが、今回、今年度予定していますのは、やんばるの産業まつり、沖縄県の産業まつり、離島フェア、それと海洋博記念公園の洋蘭博覧会時にブース出店をしております。それと平成28年度、平成29年1月予定の沖縄タイムスでの元気物産フェアということで、伊江島フェアを今、開催する計画の予算でございます。そして賃金につきましては、これまで観光地管理賃金というふうに名前を言っておりましたが、一括交付金事業で去年度から、平成27年度から採択されておりますので、その名称にかえた作業です。これまでと変わらないグスク山の除草

作業、リリーフィールド、ほかの観光地の清掃作業を行う賃金でございます。

○ 議長 島袋 義範 君

2番 島袋 勉議員。

○ 2番 島袋 勉 議員

わかりました。まずは砂場の件に関しては、再度調べてもらって、実際必要かどうか検討してください。今回も渡久地議員からマスコットの件に関しても一般質問でありました。そういったピーアールは大事なところですので、せっかくマスコットができておりますので、それを十分に利用をしていただいて、村外でもマスコット人形を出していただいて、村内だけではなくて、北部、南部、海洋博場でやる場合はぜひ持って行って、観光ピーアール活動に十分利用してほしいと思います。以上です。

○ 議長 島袋 義範 君

進行してよろしいですか。7番 渡久地政雄議員。

○ 7番 渡久地 政 雄 議員

64ページですけれども、16節原材料費の中で、細節1330. 村花・世界のゆり植栽推進業務（推交）で300万円が計上されております。ゆり祭りも20回を越えて、年間3万人以上の方々が訪れて、本当に村の夕日とロマンのフラワーアイランドということが定着して喜ばれておりますけれども、今現在80品種の世界のゆりが植栽されて、来月4月には新しくまたゆり祭りが行われるわけですけれども、今回の推進事業の300万円の使い道といいますか、これは頭で村花もうたわれていきますか、テッポウユリも入ると思うんですけれども、主に世界のゆりの推進事業、これはどういう計画なのか教えてください。

○ 議長 島袋 義範 君

商工観光課長 東江民雄君。

○ 商工観光課長 東 江 民 雄 君

村花、これはテッポウユリの球根です。それと世界のゆりとは色とりどりのゆりでございます。今年度、ことしの第21回のゆり祭りでは95種類を今、植えつけております。植えつけが終わりました。次年度につきましては、新種の中身によって増減があると思いますが、大体、今同じぐらい、95品種ぐらい予定しております。そして村花は5万球を購入しております。それと世界のゆりが95種類で2万球の購入でございます。

○ 議長 島袋 義範 君

7番 渡久地政雄議員。

○ 7番 渡久地 政 雄 議員

去年までは80品種だったわけですが、世界のゆりは約15品種増やしたということがあるわけですけれども、世界にはどのぐらいのゆりの品種があるのか、そして今、東側のほうに主に世界の品種は増えているわけですけれども、今後また来年も95品種ということでもありますけれども、世界にはどのぐらいあって、ますます増やしていく計画があるのか、お伺いします。

○ 議長 島袋 義範 君

休憩します。

(休憩時刻14時22分)

再開します。

(再開時刻14時23分)

商工観光課長 東江民雄君。

○ 商工観光課長 東 江 民 雄 君

現在その世界のゆりといいますのは、品種改良をして増やしていっているところがございまして、実際、何品種あるかというのはちょっと今、私のところでは正直持ち合わせておりません。

○ 議長 島袋 義範 君

商工費ございませんか。〔「進行」の声あり〕

進行します。8款土木費。66ページから74ページまで。3番 山城善彦議員。

○ 3番 山城 善彦 議員

67ページの13節委託料、細節1318. 西江上集落道24号道路整備事業についてなんですが、場所を教えてくださいたいと思います。

○ 議長 島袋 義範 君

建設課長 並里晴男君。

○ 建設課長 並里 晴男 君

細かい箇所まで説明できるかわかりませんが、これまで西江上の集落地内の中で、今、西江上区が区営住宅をつくったところ、平成26年度で実施しましたが、その西側の一つ上の路線にまたがって、この住宅のほうまでは説明できませんが、先ほどの区営住宅をつくった西側の道路に3本またがって、今のところ予定をしております。

○ 議長 島袋 義範 君

3番 山城善彦議員。

○ 3番 山城 善彦 議員

西江上区の集落道の整備については、西江上区は4組といたしますか、公民館から西側なんですが、まだまだ未舗装の部分が多くありまして、私の区長時分から結構要請もしているんですが、進んでいない状況にありますので、ぜひそこを振興地というか、住宅も今建ってきていますので、そこら辺をぜひ早目に対応いただきたいと思っております。議長、休憩をお願いします。

○ 議長 島袋 義範 君

休憩します。

(休憩時刻14時26分)

再開します。

(再開時刻14時29分)

建設課長 並里晴男君。

○ 建設課長 並里 晴男 君

山城議員の質疑にまるっきり別の角度の場所を言ってしまうまして、大変申しわけありません。私の勘違いは、西江上の排水路の件でありまして、先ほどの西江上集落道24号線につきましては、村長のお家の近くの道路でございます。それを訂正させていただきます。それから議員の質疑の以前からの要望箇所につきましては、弁解するわけではありませんが、距離、それから不法なところ、それからいろんなところを検索していたわけですが、そのような中で早目に対応できるような措置を早急に検討して、平成28年度の事業の中でいろんな角度から対応していきたいと思っております。

○ 議長 島袋 義範 君

3番 山城善彦議員。

○ 3番 山城 善彦 議員

といいますと、今の西江上集落道24号道路整備というのが、村長のお家の前ということですか。

○ 議長 島袋 義範 君

休憩します。

(休憩時刻14時30分)

再開します。

(再開時刻14時31分)

建設課長 並里晴男君。

○ 建設課長 並里 晴男 君

今の24号線につきましては、先ほども申し上げたとおり、村長のお家の近くの道路であります、一応実

施設設計を計上してございますので、その実施設計、さらに実施工事につきまして、できるかどうか、また予算の都合もありますが、そのほかの西江上地区の道路の要望があった件につきましても、区長と協議して進めていきたいと思っております。

○ 議長 島袋 義範 君

ほかにございませぬか。

休憩します。

(休憩時刻14時32分)

再開します。

(再開時刻14時48分)

8款、引き続き質疑を許します。2番 島袋 勉議員。

○ 2番 島袋 勉 議員

歳出の68ページです。1目11節需用費、細節101. 道路維持補修費2,000万円とられておりますが、いつもそうなんです、各区から多分そういった農道補修箇所が上がってきて、農道補修されると思っております。今までやはり補修が必要な箇所、何回も上がってきている場所もあるということで聞いております。一応毎回コーラルを入れられて、農道補修されていると思っておりますが、水がよく集まる場所等に関しては、コーラル舗装だけではなく、プライマー等の散布もして、できるだけ何回も補修しないで済むようなやり方ができないかどうか。やはり補修が必要な場所はいつも毎年出ていると思っておりますので、毎年、毎年流される状況の場合は、またほかのやり方があるのではないかと思うんですが、その辺、検討できないかどうか、お伺いします。

○ 議長 島袋 義範 君

建設課長 並里晴男君。

○ 建設課長 並里 晴男 君

細節101につきましては、お説のとおり、各区からの要望箇所、あるいはまたいろんな団体からの要望事項を踏まえて、農道補修について実施しております。なお、農道補修のみならず、道路の維持管理的なところ、側溝を改修したりとか、そういったことも踏まえてやっている状況です。その中で何回も補修が必要と、あるいは必要にされる場所も場合もあります。お説のとおり、プライマーでやってはどうかということなんです、特に集落的なところとか、そして余り大型の重量のかかるところではないところとか、そういったところについては、プライマーで補修とかをしながらやっていることもありますので、いつもその要請事項があった場所については、精査をしてから、どういった時期がいいのかということも含めて、検討して補修をしているつもりですので、議員お説の二重三重にならないようなことも今後視野に入れていながら、検討すべきかとも思っているところです。

○ 議長 島袋 義範 君

2番 島袋 勉議員。

○ 2番 島袋 勉 議員

ぜひ臨機応変に農道補修のほうをお願いしたいと思います。特に今からは梅雨時期に入る前でもありまして、たばこ農家等はAP-1をトレーラーに乗せて、牽引する里道なんかが大分あるわけです。そういった際にどうしても里道がスリップとかがあった場合、事故等の可能性もありますので、また精査していただいて、そういった箇所がないように、事故がないような対策を取っていただければと思います。3回しかできませんので、もう1カ所だけお願いしたいと思います。3目の排水維持費の中で、11節需用費の中でルミライトですか、具志排水のルミライトのほうを計上、というか、説明の中で話されていたんですが、実際このルミライトを入れての状況というのか、どういった具合なのか、実績というんでしょうか、入れての報告がどんな状況かわからないので、その辺どうなっているのか、お伺いします。

○ 議長 島袋 義範 君

建設課長 並里晴男君。

○ 建設課長 並 里 晴 男 君

1点目の維持補修費の中の道路修理につきまして、やはり農道補修等につきましては、サトウキビの時期、そういった時期にはぬかるみが多くなって、先ほど申し上げた大型重量の車も頻繁に通るといふこともありまして、その時期を検討しながら、その時期が終わったら、また先ほどのたばこ農家さんがいろんな畑の中で、農道の利用をするということなので、時期につきましてもいろいろ検討して、例えばサトウキビ前の時期のちょっと手前になると、一応予算の状況を踏まえて、優先するところをやるから、その予算の状況も見きわめながらやっている状況でありますから、今後ともそのような中でいろんなところを精査しながら、執行はしていきたいと思ひます。

2点目の排水事業の中の需用費の中の具志排水施設の浄化施設の中で、浸透池のほうにルミライトを散布する実証実験を平成26年度から実施してひまして、そのルミライトの効果につきましては、やはり晴れた日とかに散布すると非常に透明度の高い水質になることとかの効果は今、実際、県も見て、確認をしてひます。水質につきましても、一応できるだけサンプルがとれるようにしてひきたいと思ひてひます。なお、この実証実験の機会が仮になくなった場合にひしても、手作業で散布してひも状況的には同じ効果が得られますので、引き続き継続しながら、その検証をしながらやってひきたいと思ひてひます。

○ 議長 島 袋 義 範 君

進行します。9款消防費。75ページから76ページ。5番 内間広樹議員。

○ 5番 内 間 広 樹 議員

75ページ、18節備品購入費の説明で不発弾探知機の購入費という説明だったと思ひうんですけども、もう一度、説明をお願いいたします。

○ 議長 島 袋 義 範 君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内 間 常 喜 君

備品購入費につきまして御説明いたします。これにつきましては、不発弾爆破処理の際に、役場の総務課、事務局ですが、消防団員と一緒に行動をいたしまして、通行どめをしたりとか、爆破の瞬間まで秒単位で自衛隊のほうが対応なさるんですが、自衛隊の皆さんはこういった移動用のトランシーバーを持ってひまして、私たちが今使っているものはちょっと古くて、なかなか現場のほうで電波がうまく届かないというところもあります。また人命捜査のときにもそうなんですが、ちょっと高低差のあるところを人命捜査する場合がありますから、そういったもののために移動用のトランシーバーを購入させていただきたいということでの予算計上でございます。

○ 議長 島 袋 義 範 君

進行します。10款教育費。77ページから100ページ。8番 亀里敏郎議員。

○ 8番 亀 里 敏 郎 議員

79ページ、19節負担金補助金及び交付金の細節123. 沖縄の太陽記念碑建立実行委員会助成金に関連して、これは恐らく黒田さんの碑と思ひますけれども、場所とかも特定されているんですか。

○ 議長 島 袋 義 範 君

教育長 宮里徳成君。

○ 教育長 宮 里 徳 成 君

場所につきましては、今、県と真謝区とやっている最中でありひます。記念碑につきましては真謝区のほうで実行委員会をつくってひいただきまして、そこに村から助成を流してひいくという考え方でありひます。場所に

つきまして、再度、城山と、真謝区内という2カ所がありますので、それについては再度検討していくということになります。

○ 議長 島袋義範君

8番 亀里敏郎議員。

○ 8番 亀里敏郎議員

実は教育長、記憶にあると思いますけれども、去年でしたか、私ちょっと山に行ったら、たまたま立ち会いさせていただいて、そうしたら、ここを場所に予定はしていると。今、松がきちんとあの辺には育ちそうなんです。だからできれば、あの松はそのままにして、皆さんが最初予定していたあの場所で建立するのでしたら、あの松は動かさないで建立できるように努力していただけないか、いかがでしょうか。

○ 議長 島袋義範君

教育長 宮里徳成君。

○ 教育長 宮里徳成君

場所につきましては、再度、移動しないでも可能かどうか、設置できるスペースはあると考えますので、慎重に検討していきたいと思います。

○ 議長 島袋義範君

10番 名嘉 實議員。

○ 10番 名嘉 實議員

85ページの11節需用費の中の細節6. 修繕料、これは教員住宅の給水管の修繕と聞いたんですが、水がさびで汚れて、教員住宅の水では食事もつくれなくて、学校からくんでいる状況があるところもあると。これは私が聞いてから長いんですが、今もそうですか。

○ 議長 島袋義範君

教育行政課長 大城 強君。

○ 教育行政課長 大城 強君

水の給水管が設置されてからかなり腐食はあるということでは聞いています。それを早急に学校現場からの声がありましたときには、その対処をしてきております。ただ私のほうには学校から水をくんでの食事ということについては、ちょっと情報がないんですけれども、一応生活の中で早急にしてほしいということでの対応はこれまでもしてきたつもりであります。

○ 議長 島袋義範君

10番 名嘉 實議員。

○ 10番 名嘉 實議員

水道管の交換はしたということですか。したんだけど、さらにやるということですか。

○ 議長 島袋義範君

教育行政課長 大城 強君。

○ 教育行政課長 大城 強君

済みません、休憩をお願いいたします。

○ 議長 島袋義範君

休憩します。

(休憩時刻15時03分)

再開します。

(再開時刻15時04分)

教育行政課長 大城 強君。

○ 教育行政課長 大城 強君

現状につきまして、学校現場の校長先生等の情報を収集しまして、これまでもそういった対応はしてきたつもりですので、再度、学校現場との確認をしていきたいと思っております。

○ 議長 島袋義範君

3番 山城善彦議員。

○ 3番 山城善彦議員

各学校に樹木管理委託料というのが3学校ともありますが、それについて御説明をお願いいたします。

○ 議長 島袋義範君

教育行政課長 大城 強君。

○ 教育行政課長 大城 強君

3学校にそれぞれ樹木管理委託料ということですが、一応校庭には樹木と運動場等の中での2つに分けて、2業者に管理させております。

○ 議長 島袋義範君

3番 山城善彦議員。

○ 3番 山城善彦議員

これはそれぞれ各学校の委託料というのをひとつよろしく申し上げます。

○ 議長 島袋義範君

教育行政課長 大城 強君。

○ 教育行政課長 大城 強君

小学校においては、樹木剪定10万円、草刈りで10万円で、両方とも各20万円、中学校におきましては75万円、剪定で15万円、草刈りのほうで60万円を計上しております。

○ 議長 島袋義範君

8番 亀里敏郎議員。

○ 8番 亀里敏郎議員

96ページの細節301. 村体育協会補助金に関連しまして、質疑をさせていただきます。私たちが全盛期のころ、紅顔可憐な青年のころ、伊江村陸上競技といたら全村民が観戦に来ておりました。家に残るのはちょっと泥棒か、変な人しか残らない。そのぐらいの時期があったんですけども、近年、もう観客がどんどん減ってきていたんですけども、去年ですか、60回大会ということで、かなり盛り上がり、村民からもまた小学校、中学生からも大変楽しかったと、夢が持てましたという話が聞かれます。そこでもう1回切りで小中学生の参加をとりやめるのか、私としてはぜひこれを継続していただいて、こうして5年後の東京オリンピックに間に合います。そういう雰囲気をつくりたいんですけども、体協長いかがでしょうか。

○ 議長 島袋義範君

副村長 名城政英君。

○ 副村長 名城政英君

副村長が業務長といいますか、体協長ですので、副村長としてお答えさせていただきます。非常にありがたい御意見、御質疑だと思います。この件につきましては、その大会を終了した後の区長の皆さんの中でも、ぜひ続けたほうが良いという区長もいらっしゃいます。ただ単に体協長がわかりました、ではやりましょうと言えないところがありまして、来る理事会、総会に向けて、この件については前向きにやっていきたいと思っておりますし、いろんなところから、非常に大会が盛り上がるし、子どもたちの意識づけのためにもぜひやっていただきたいということが私のところに寄せられておりますので、ぜひ今、亀里議員からありましたことを体協長としてもそういう希望をして、継続をしてやっていきたいということを理事会で申し上げた

いと思います。

○ 議長 島袋義範君

8番 亀里敏郎議員。

○ 8番 亀里敏郎議員

教育長にちょっと質疑ですけども、もし、そういうことになって、子どもたちが参加、小中学校が参加させることによって、学校教育のそれに影響することはどう考えますか。

○ 議長 島袋義範君

教育長 宮里徳成君。

○ 教育長 宮里徳成君

土日の行事ですので、学校の直接の時間には影響はしないと思いますし、地域の行事に子どもたちが参加することによって、地域との連携が図れますし、かかわりを持って、非常に教育効果が高いと考えています。

○ 議長 島袋義範君

8番 亀里敏郎議員。

○ 8番 亀里敏郎議員

教育長、ぜひ学力低下、そういったことにつながらなければ、ぜひ教育委員、教育長としてはぜひ推進して、学校等と調整していただければと思います。頑張ってください。よろしくをお願いします。

○ 議長 島袋義範君

教育長 宮里徳成君。

○ 教育長 宮里徳成君

村の陸上競技大会があるころは、中体連の行事等もその期間にありますので、夏休みのころから練習に励んでおりますので、特に村の陸上競技に向けて練習するというわけではありませんので、学校の負担にはならないと考えております。

○ 議長 島袋義範君

5番 内間広樹議員。

○ 5番 内間広樹議員

98ページ、6項保健体育費、細節1308. 総合運動公園整備事業、野球場の整備工事ということで説明がありました。平成27年に実施設計されていますので、その設計図ができ上がっているのであれば、資料の提出を、議長求めます。

○ 議長 島袋義範君

教育行政課長 大城 強君。

○ 教育行政課長 大城 強君

野球場の設計図につきまして、後ほどまた資料を提供したいと思います。

○ 議長 島袋義範君

ただいま5番 内間広樹議員から野球場の設計についての資料提出の要求があります。

お諮りします。この資料を議会で要求することにしたいと思います。御異議ありませんか。〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。したがって、ただいま要求のありました資料を議会で要求することに決定しました。村長はただいまの資料の提出を要求いたします。

11番 内田竹保議員。

○ 11番 内田竹保議員

2点ほどお伺いします。

91ページ、2目公民館費の中の8節報償費、細節、アダン葉帽子の講師への謝礼ということで、確か説明を受けましたけれども、今、村内でアダン葉帽子をつくれる先生がいらっしゃるのかどうか。それと2点目が94ページ、この中で伊江島の1073、伊江島の村踊記録刊行事業の台紙作成ということで説明がありました。各字からの組踊り、これを一堂に集めて1つの冊子になるということでありましたけれども、毎回、輪番制になると、台紙づくりにひと苦勞しているところがありまして、これができるとかなり便利になるなという思いもあります。その中で、これを1つの冊子にされてしまうと、冊子だけでは例えば東江前がことしだとするならば、分厚いものからコピーをしなければいけなくなるんです。役者に配布するもの。その辺を、その冊子だけを各区にあげるのではなくて、例えばA-3ですか、それを準備してもらって、これを各区に配布して、それからその輪番制の年は役者には配布するというふうにしないと、こういう冊子だからとなかなかコピーしづらいんです。それ以外の方法があればいいと思うんですが、その辺も配慮を願いたいんですが、いかがですか。

○ 議長 島袋義範君

教育長 宮里徳成君。

○ 教育長 宮里徳成君

今、内田議員の指摘がなければ、そこまで考えが及ばなかったんですけども、一応これまでの製本という1つにまとめるのが通常でありまして、この分冊という考え方はなかったわけなんですけれども、それについて前向きに検討していきたいと考えております。

○ 議長 島袋義範君

教育行政課長 大城 強君。

○ 教育行政課長 大城 強君

アダンの帽子について、村内につくれる人がいるかということですが、一応、知る限りはいないと思いますので、今回は村外で技術を持っている方がいるという情報がありましたので、その方を講師に招いて、アダンの帽子の育成の手がかりになればと思っております。

○ 議長 島袋義範君

11番 内田竹保議員。

○ 11番 内田竹保議員

1点目のアダン葉帽子についてでありますけれども、東江前の故知念ウメさんが、つくられたアダン葉帽子を、私1つプレゼントされました。今でもそれは飾ってありますけれども、非常に軽くて、涼しくて、それを海岸端から取ってきて帽子にするまでには、相当の期間を要するというので、また帽子自体すばらしいのがあるんです。村内でも今、若い皆さんがつくっている人がいるんです。だけど一部はつくれるけれども、途中の仕上げの部分がつくれないと嘆いているような皆さんもいらっしゃるわけなんです。ですから今回、今、村外から講師を呼ぶということですので、資源というんですか、アダン葉は海岸沿いにはありますから、そういった昔ながらの帽子をつくるのにも絶好の機会ではないかということを考えますので、ぜひこれを実現させていただきたいと思っております。先ほど2点目の質疑をしましたが、これが現実だと、台本を、各公民館が苦勞してはいけませんから、ぜひそれも今後、御検討いただきたいと思っております。よろしくお願ひします。

○ 議長 島袋義範君

教育長 宮里徳成君。

○ 教育長 宮里徳成君

アダン葉帽子については、現在、指導できる方が島のころから教わったということで、島独特、島で独自のものができると思います。村外の方でも伊江島であったのが、島にわざわざ来て習って、宮古のほうにいらっしやるわけなんですけれども、済みません、北中城村にももうお一方いますので、そこのほうから今、考えております。それと組踊の件に関しましては、今まとめるのと分冊のほうと二通りにできるかどうか、また前向きに検討していきたいと考えております。

○ 議長 島袋 義範 君

2番 島袋 勉議員。

○ 2番 島袋 勉 議員

90ページのほうで細節8. グローバル人材育成事業があるんですが、参考資料で平成27年度よりスタートした伊江村グローバル人材育成事業を継続されています。その下のほうで平成28年3月27日から4月3日までカルフォルニアの高校生による小学校対象の英会話とあるんですが、これはカルフォルニアから呼んでやっているのか、誰かそういった仲介者というんですか、そういった人を通してやっている事業なのか、それとあと1点、青壮年交流事業、平成28年度も予算化されています。平成27年度の実績報告というか、どういった活動内容になっていたか、この2点についてお願いします。

○ 議長 島袋 義範 君

教育長 宮里徳成君。

○ 教育長 宮 里 徳 成 君

グローバル人材育成事業のカルフォルニアの高校生が来村するときに、せっかく伊江島まで来ますので、ぜひボランティアをやりたいということがありましたので、小学生を対象に英会話教室、それから4月に入りまして、1、2、3で2組かで中高校生を対象にして、イングリッシュキャンプということで、キャンプを使って交流を図るということであります。これは向こうから伊江島のほうに沖縄に来村、特に伊江島に来るということで、ぜひボランティアをさせてくださいということがありましたので。それと今、東江前区の野村さんのほうを通して、そういう話がありましたので、ぜひ協力のほうをよろしくお願ひしたいということあります。それと青壮年交流事業、伊江島創生塾なんですけれども、今、講師を、後で資料をこの1年間の活動の講師の皆さんとタイトルをコピーしておあげしたいと思っているわけなんですけれども、村出身の方の、例えばナンポーの安里常務を講師に招いて講話をしていただくとか、それから山城克巳さん、それから玉城堅徳さん、それから総合事務局の大田さんとか、そういう島にこれまで関係した著名な方々をお招きしております。平成28年度についても、そういう方々を予定しております。実績については、後ほどコピーをして、また皆さんに差し上げたいと思います。以上です。

○ 議長 島袋 義範 君

2番 島袋 勉議員。

○ 2番 島袋 勉 議員

それではまた資料をよろしくお願ひしたいと思います。伊江島創生塾に関しての内容としては、勉強、特に勉強会というイメージが僕にはあります。私たちが考えていたのは、それを利用しての婚活活動もあるのではないかと考えていたんですが、そういった交流が何か少なく感じるんです。せっかくやるんだったら婚活活動もある程度メイン化して、勉強会も必要です。しかし、やはり青年などが早目に結婚して、子どもができて、島にどんどん人口が増えていくというのが私たちは理想とするそういった創生塾ではないかと思ひます。できるだけ村外との交流会がその計画の中で1回しかなかったような感じがしたんです。ぜひそういった交流会を増やしていただけないでしょうか、どうでしょうか。

○ 議長 島袋 義範 君

教育長 宮里徳成君。

○ 教育長 宮 里 徳 成 君

伊江コンという形で交流事業を浦添のほうでやって、島の出身の居酒屋を営んでいる方にお願ひしまして、向こうの呼びかけで12名の方を集めてもらひまして、こちらからも12名行って交流をしております。そういうことで、なかなか人集めするということも非常に難しいということもあります。ほかの地区でもこういう事業はされているわけなんですけれども、非常に根気のいる仕事だということがあります。特に島でそういう自己研鑽をして、相手に対して自分をアピールする勉強も必要だろうということがあります。そういうことで、これから地域を担う人材を育成するということを目的に、伊江島創生塾はやっております。独自でゆくゆくは交流事業を図れるように、青年主催の自分たちで地域を活性化するというのがこの取り組みでありますので、全部お膳立てするわけではなくて、自分たちで企画をしていくような取り組みをこれから図っていきたくて考えております。

○ 議長 島 袋 義 範 君

2番 島袋 勉議員。

○ 2番 島 袋 勉 議員

わかりました。すすめの中では一番の自己研鑽も重要だということではありますが、ぜひ交流を村外でやるのも結構ですが、逆にここに招いてやるということも大事だと思います。島に来てもらって、島でそういった交流をやって、島はこういうものだとわかってもらって、初めて交流が生きてくるものだと思います。こちらから足を運ぶのもいいんですが、来てもらって、やってもらうということもぜひ行っていただきたいと思います。最後にこの件に関して、婚活というんですか、やはり人口を増やすには大事なことだと思いますので、村長の考えをちょっとお伺ひしたいと思います。

○ 議長 島 袋 義 範 君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島 袋 秀 幸 君

島袋 勉議員の気持ちも重々理解できます。私もその辺の部分もありますが、やはりこの1年の教育長をはじめ、教育委員会の取り組みを見ると、若干見守っていききたいという感じを受けております。最初の話の出所はおっしゃるとおり、村長部局でやるのか、教育委員会でやるかという部分で、いろいろ議論をしましたが、今帰仁村のほうで教育委員会ですということでありましたので、私も教育長のほうに教育委員会でどうですかということでしたら、教育委員会は頑張るということでしたので、私も創生塾の打ち上げのときに参加をさせていただきましたが、やはりこの創生塾の中で自分を磨いて、いろんな見識を高めて、自分に自信を持てる人格形成をしていけば、おのずから自分で探せるという感じを受けました。だからそういう部分で伊江島創生塾よりすばらしい企画で教育委員会は頑張っているなと思っておりますので、ぜひ参加する皆さんは自分の人格を形成して、自分を高めて、そういう中で自信もつけて、女性にどちらかといえば離島ですから、なかなか積極的にできなかった部分も、今後は積極的に進んでいって、自らで男性であろうが、女性であろうが、そういう人生の伴侶を探せるような方向性で頑張ってほしいし、頑張っていけると思いますが、今年度もやれば、見守っていききたいと思っております。そういうことで、浦添のほうで第1回の交流会も図って、いい雰囲気、先ほど勉議員がおっしゃったように、何名かは伊江島のほうに来て、そういう交流もするといううれしい話も聞いていますので、地道にそういう中で進んでいますので、見守りながら、村としてまた支援できる部分は支援をしていきたいと思っておりますので、いましばらく教育委員会の中で、創生塾の中でいい青年たち、若者たちをつくっていただきたいと思ひます。そういう勉強会の中で、島同士の参加する男性、女性の中で、そういう心を通わせて、シマンチュ同士で結婚していけるような、可能性も

ありますので、しばらく創生塾の活動を見守りながら、村としてもまた支援をしていきたいと思っております。

○ 議長 島袋義範君

教育長 宮里徳成君。

○ 教育長 宮里徳成君

済みません、報告を1つ忘れておりましたけれども、伊江コンのときに12名の方に伊江島への招待のために往復券を渡しております。ゆり祭りには来てもらうようにということになっておりますので、また一度だけではなくて、交流が図れる対策はとっております。以上です。

○ 議長 島袋義範君

教育費、進行してよろしいですか。10番 名嘉 實議員。

○ 10番 名嘉 實議員

埋蔵文化財発掘調査事業について伺います。94ページ、社会教育費の細節1248、旅費と需用費、それから委託料が予算化されているんですが、これはどこを発掘調査するんですか。

○ 議長 島袋義範君

教育行政課長 大城 強君。

○ 教育行政課長 大城 強君

埋蔵文化財発掘調査事業につきましては、ナガラ原第3貝塚、平成25年にナガラのほうで県営事業で浸透池をつくる箇所が出た遺物ですけど、ことしも県との調整の中で委託費が100%組めないということで、次年度まで継続して報告書作成ということであります。

○ 議長 島袋義範君

教育費いいですか。進行します。11款災害復旧費。101ページから102ページ。〔「進行」の声あり〕

12款公債費。103ページ。〔「進行」の声あり〕

13款諸支出金。104ページから106ページ。〔「進行」の声あり〕

14款予備費。107ページ。〔「進行」の声あり〕

それでは歳出全般について質疑を許します。10番 名嘉 實議員。

○ 10番 名嘉 實議員

歳出11ページ。総務費の総務管理費、レク広場関連費について伺います。総額で6,425万7,000円、前年度に比べて5,179万6,000円の増になっているんですが、去年からレク広場整備基金を取り崩して、3年間取り崩して、1,000万円ずつ、700万円は運営費、あとは需用費に充てて、1,000万円ずつ充てていくということが行われてきたんですが、ゴルフ場利用税交付金の資料によりますと、去年の12月末現在を参考にされているんですが、6,677人と。このゴルフ場利用税交付金の算定、計算方法は過去3年間の利用状況を平均しているということですが、平均すると6,795人と。この資料は12月末現在ですが、1月、2月もう既に過ぎていくわけで、1月、2月の数字はどうなっていますが1点。それからこの運営費にも700万円、1年間1,000万円を投入して、経営状況はどういうふうになったかが2点目。それからゴルフ場が開設されてからこれまでにどれぐらいの金額が投入されてきたか、この3点を伺います。

○ 議長 島袋義範君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内間常喜君

こちらで御説明いたします。まずゴルフ場利用税は、今、資料のほうを私は持ち合わせておりませんが、これは住民課のほうで資料を提供されていると思いますが、1月、2月につきましては、来客数につきまし

てはこちらで今把握できておりません。ただ、去年以上に来客数というんですか、プレーされる方は増えていると私は伺っております。全体的には例年よりもゴルフをプレーされる方が増えているという状況は私は伺っております。さらにどれぐらいの経費が投入されたかということにつきましては、今、資料を持ち合わせておりませんので、これは集計をしないとイケませんので、時間がかかるかと思いますが、集計作業をやりたいと思っております。

あと1,000万円をという話がありましたが、700万円が運営費ということなんですが、あとの300万円はこどもの森の管理ということで、農林水産課のほうでまた計上しまして、契約をしているという状況でございます。需用費ということでもございません。経営状況につきましては、基本的に前回、いつでしたか、決算の資料をお渡ししたかと思いますが、後ほど村長のほうからもあると思いますが、改善に向かっているかと私どもでは認識をしております。

○ 議長 島袋義範君

住民課長 西江 忍君。

○ 住民課長 西江 忍君

申しわけございません。私もちょっと平成27年度の補正予算資料が手元になくて、後ほど報告させていただきます。よろしくをお願いします。

○ 議長 島袋義範君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島袋秀幸君

総体的にお答えをさせていただきます。

私、資料を持っていますが、まだゴルフ場も1月以降の来客者については、この前の役員会でも提出がありませんでした。7月から12月までの部分では、全て前年度を上回っております。そういうことで、7月から12月までの経営状況的にも今のところ100万円を切るような部分で、赤字は赤字ですが、非常にその辺の経営状況的には好転をしてきているということで、社長も一生懸命頑張っておりますし、それに応えて、村民ほかの皆さんの協力もあるのかと思っております。ゴルフ場利用税は70歳以上は非課税ですので、それで六千幾らかぐらいになっていると思いますが、ちょっと集計はありませんが、去年の7月から12月まで全て1,000人を今期は越えておりますので、利用税についてもそういう感じで平成28年度は計上しておりますが、若干、今後伸びていく可能性もあるのかと思っております。ゴルフ場について基金を今までは施設だけにしか基金を投入できなかったんですが、その条例を議会にも提案して、可決をさせていただいて、御存じのとおり、運営補助金として700万円、そして管理でこどもの森の管理ということで300万円ということで、1,000万円を去年からゴルフ場に、伊江島カントリーに交付をさせていただいておりますが、そういう部分もあって、今期は非常に好況に経営が進んでおりますので、一応上半期はよかったですので、1月から5月、6月までの後半の部分は、ゴルフ場ともしっかり村としても筆頭株主ですので、役員会とか、その辺の中でしっかり議論をしながら、基本的にはカントリーの中で、うちの補助金がなくても黒字にできるような感じで、今後一緒になってやっていきたいと思っております。これまでの全体の伊江島カントリーを含めたゴルフ場の村からの費用というんですか、支援した費用については後ほどまとめてから答弁をさせていただきたいと思っております。

○ 議長 島袋義範君

ただいまの答弁については、あしたできますか。あしたでもいいですか。

休憩します。

(休憩時刻15時41分)

再開します。

(再開時刻15時45分)

3番 山城善彦議員。

○ 3番 山城善彦議員

72ページの空港費です。ここに関連してですけれども、ことし空港のフェンスの取りかえ工事がありました。当初、全部草地なので、余り踏み荒らさないようにという話はしていて、担当と調整をしているということだったんですけれども、工事の内容からしても結構大きく荒らされるといいますか、荒らされるではないですね、とにかく踏みつけた状況がありまして、その後、ちゃんとローラーをかけて、種子もまくようにしてくださいとお願いしたんですけれども、そこら辺について、ちゃんと牧草の種子はまいたのかどうか、確認なんですけれども。

○ 議長 島袋義範君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内間常喜君

この事業につきましては、県の直轄事業でございます。一度この草地の、現在、草地として使っている農家の皆さんの名簿というんでしょうか、そういった情報を提供したりとか、工期の関係の調整をしたりとか、業者との顔合わせ、そういったことは私、一緒に同席をしておりますけれども、今のお話については、まだ情報が入っておりませんので、この辺は今、うちの空港担当と土木事務所の職員、そして施工管理をしていたコンサルもおりますので、そこから聞いてみないとうまくお答えすることはできませんが、やったかどうかの情報については、今のところ私の耳には入っておりません。

○ 議長 島袋義範君

3番 山城善彦議員。

○ 3番 山城善彦議員

即答は難しいということですが、とにかくあれだけの面積を草が生えない状態になっていますので、ぜひ種子はまいてもらって、地主に返してもらおうと、使ってもらおうという形はぜひお願いしたいと思っています。

○ 議長 島袋義範君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内間常喜君

早急に確認をしまして、どういった状況なのか、把握に努めたいと思います。

○ 議長 島袋義範君

お諮りします。

本案については、全議員で構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することにしたいと思います。御異議ありませんか。〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。したがって本案については、全議員で構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することに決定しました。

以上で本日の日程は、全部終了しました。

本日はこれで散会します。御苦労さんでした。

(散会時刻15時48分)